

こども部

こども育成課

課長 青木 直美

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども育成課	課CD	09500000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	ファミリー・サポート・センター運営事業
-------	---------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標		一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		○子どもの権利を擁護し、虐待やいじめを撲滅
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	ファミリー・サポート・センター運営事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

核家族・共働き家庭が増加する中、子育て家庭の孤立化を防ぐとともに、多様な子育てニーズに柔軟な対応のできる子育て環境を整備するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

育児の援助を受けたい方(0～15歳の子どもを育てている方)と育児の援助ができる方が会員となり、会員同士の相互援助により、有料で育児に関する援助活動(子どもの送迎など)を行う活動をサポートする事業。

事務局の受付時間(祝日を除く月～金の午前8時30分～午後5時)以外の時間帯は協力会員による緊急サポート受付を実施している。

1 登録会員数(H31年3月現在)

- (1) 依頼会員(育児の援助を受けたい方) 2,672人
- (2) 協力会員(育児の援助を行いたい方) 194人
- (3) 依頼協力会員 82人
(子育て中で育児の援助を受けることもあるが、育児の援助も行える方)

2 延べ利用件数 3,655件(H30実績)

3 緊急サポート事業登録会員数(H31年3月現在)

- (1) 依頼会員 1,334人
- (2) 協力会員 21人
- (3) 依頼協力会員 1人

4 緊急サポート受付件数 29件(H30年度実績)

<現状に対する認識>

登録会員数、利用件数ともに増加しており、核家族化が進むなか必要な事業であると考えます。また、緊急サポート受付は、受付時間を拡大することによって何かあった時に頼れる事業があるという子育て中の保護者の安心につながっている。

登録者数の増加に伴い、協力会員及びコーディネーター業務を担う職員の拡充が必要。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	利用者数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	2,000	2,150	2,300	2,450	2,600
実績値	3,090	3,263	3,655		
達成度	154.5%	151.8%	158.9%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	3,677		3,704		3,468		3,810			
国・県	2,436		2,468		2,272		2,520			
利用者負担金										
その他	5									
一般財源	1,236		1,236		1,196		1,290			
② 人件費(千円)	5,071	人工	5,059	人工	5,085	人工		人工		人工
正規	3,076	0.4	3,036	0.4	3,020	0.4				
嘱託	1,995	0.7	2,023	0.7	2,065	0.7				
合計コスト①+②	8,748		8,763		8,553		8,895			
前年度比	—		100.2%		97.6%		—			

事務事業評価票

事務事業名	子育て支援センター運営事業
-------	---------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	子育て支援センター運営事業費

部局名	こども部	課名	こども育成課	課CD	09500000
-----	------	----	--------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標		一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち	主な取組み		○子どもの権利を擁護し、虐待やいじめを撲滅
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実	5つの重点目標		2 次世代を育むまちづくり
—	—	—	松本版総合戦略		⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
核家族・共働き家庭が増加する中、身近な地域で、育児の孤立化の防止や就労支援などを行える拠点事業を整備するもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 こどもプラザの運営 主に未就園の子どもとその保護者が気軽に交流できる場を提供し、各種育児講座の開催、育児相談の実施、子育てサークルの支援などを行う。 (1) 実施箇所数 4カ所(筑摩、小宮、南郷、波田) (2) 開設時間 午前8時30分から午後5時まで (筑摩・南郷・波田は月～金曜日、小宮は火～日曜日に開館、祝日、年末年始は休館) (3) 延べ利用者数 63,761人(H30実績 4館合計) (4) 育児講座等開催回数 237回(延べ参加組数 5,070組) (5) 子ども子育て安心ルーム 相談延件数2,539件(H30実績 3館合計) 健康づくり課の母子保健コーディネーター(H28.10～)とこどもプラザの子育てコンシェルジュ(H28.10～筑摩、29.4～小宮、H30.4～南郷)、保育課の保育コンシェルジュ(H30.4～)が連携して、出産から子育て期の相談業務を実施するもの。
2 地域子育て支援事業補助金 地域の子育て支援活動の推進と充実を図ることを目的に、地域で子育て支援事業を行う団体及び個人に補助金を交付するもの。補助対象は子育て支援事業実施にかかる経費(講師謝礼・消耗品など)とし、補助上限額は3万円。 H30 補助金交付件数 19地区、26件、補助金交付額 760,310円

＜現状に対する認識＞
こどもプラザは、子育ての孤立化を防ぎ、子育てで不安等を解消するため、必要不可欠の施設である。 4館ともに建設から10年以上経過し、計画的な施設管理を行っている。
補助金は、多くの地区で実施がされるよう制度の周知を行うとともに、事業実施の担い手の育成により、地域での子育て支援の充実を目指す。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	延べ利用者数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	70,000	71,500	73,500	75,000	77,000
実績値	69,445	67,029	63,761		
達成度	99.2%	93.7%	86.7%		
② 成果指標(指標名)	子育て支援事業補助事業/実施地区数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	35	35	35	35	35
実績値	20	21	19		
達成度	57.1%	60.0%	54.3%		

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
① 事業費(千円)		11,315	9,423	10,217	9,710		
	国・県	7,018	5,794	5,980	5,820		
	利用者負担金	90	96	77	130		
	その他	0	0				
	一般財源	4,207	3,533	4,160	3,760		
② 人件費(千円)	38,091	人工	42,804	人工	46,557	人工	
	正規	4,614	0.6	4,554	0.6	4,530	0.6
	嘱託	31,350	11	31,790	11	32,450	11
	非常勤特別職	2,127	0.7	6,460	2	9,577	3
合計コスト①+②		49,406	52,227	56,774	56,267		
前年度比		—	105.7%	108.7%	—		

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども育成課	課CD	09500000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	つどいの広場事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標		一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		○子どもの権利を擁護し、虐待やいじめを撲滅
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	つどいの広場事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

核家族・共働き家庭が増加する中、子育て家庭の孤立化を防ぐとともに、身近な地域で、子育てしやすい環境づくりと、保護者同士が情報交換や交流できる場を整備するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

未就園の子どもとその保護者が気軽に交流できる場を提供するとともに、各種育児講座の開催、育児相談等を行う。また、平成29年7月から、月に1回父親の育児参加を促すことを目的に、休日つどいの広場を開催

- 実施箇所数 21カ所
- 開設時間 午前9時から午後2時まで(月～金曜日)
(「なんぶすくすく」は、午前9時から午後5時まで)
- 延べ利用者数 91,352人(H30実績 21カ所合計)
- 休日つどいの広場
(1)実施場所 1カ所 「なんぶすくすく」(芳川児童センター内)
(2)開設時間 午前9時から午後2時(月に1回 日曜日)
(3)延べ利用者数 610人(H30実績 12回合計)
- 運営形態 児童館・児童センターの指定管理者への業務委託

<現状に対する認識>

地域のつながりが希薄化し、核家族化が進むなか、より身近な場所で親子が交流できる場を提供することは、子育て支援の充実につながる。27年度までにこどもプラザのない地区(小学校区)で実施箇所数を増やし、実施してきたが、子育て支援の充実を望む声もあり、地域の実情により増設が必要である。3歳未満児の入園者数の増加、少子化の影響により、利用者数は年々減少傾向にある。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	利用者数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	100,000	110,000	110,000	110,000	110,000
実績値	108,935	99,545	91,352		
達成度	108.9%	90.5%	83.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
① 事業費(千円)	56,236	57,073	57,071	57,670						
国・県	37,490	38,048	38,046	38,440						
利用者負担金										
その他										
一般財源	18,746	19,025	19,025	19,230						
② 人件費(千円)	1,538	人工	1,518	人工	1,510	人工	1,510	人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,510	0.2	1,510	0.2		
嘱託										
合計コスト①+②	57,774	58,591	58,581	59,180						
前年度比	—	101.4%	100.0%	—						

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども育成課	課CD	09500000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	子育て支援ネットワークづくり事業
-------	------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標		一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		○子どもの権利を擁護し、虐待やいじめを撲滅
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	子育て支援ネットワークづくり事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

市内の子育てを支える人材や団体を発掘し、市と協働して子育て支援を行うためのネットワークづくりと研修等を実施することにより、子育て環境を整備するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

市内の子育てグループや子育て支援団体、関心のある市民に呼びかけ、研修会・交流会等を通して相互に情報交換するとともに、子育て支援について学習し、子育て支援を行うためのネットワーク化を図り、子育てを支える人材や団体を発掘・育成するもの。

- 研修会の開催 5回
 - 市の子育て支援策「子ども子育て安心ルーム」について
 - 「子どもの居場所づくり」について
 - 視察研修会 公共施設(こどもプラザ、なんぷくプラザ、西部給食センター)
 - 「こころの鈴」活動報告
 - 子育て支援団体の事例報告
- 講演会 1回
「発達障害の理解と対応について」
講師 にじいろキッズらいふ、次長 田中秀明 氏
- 研修会・視察研修会延べ参加者数 120名
- インターネットサイト構築 「はぐまつ」の管理運営

<現状に対する認識>

子育て支援団体と協働で子育て支援の学習や各団体同士の情報交換を行うことによって、より一層子育てしやすい環境整備を目指すもの。
子育てグループ、支援団体、個人等を登録対象とし、研修会・視察・講演会等を実施しているが、参加者数が低下傾向にあるため、開催曜日や周知を広く行うなどの対策を行う必要があります。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	研修会参加者数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	175	175	175	175	175
実績値	54	87	120		
達成度	30.9%	49.7%	68.6%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	1,103		1,035		950		990			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,103		1,035		950		990			
② 人件費(千円)	2,877	人工	1,518	人工	1,510	人工	1,510	人工		人工
正規	2,307	0.3	1,518	0.2	1,510	0.2	1,510	0.2		
嘱託	570	0.2								
合計コスト①+②	3,980		2,553		2,460		2,500			
前年度比	—		64.1%		96.4%		—			

事務事業評価票

事務事業名	子育て家庭支援者派遣事業
-------	--------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	子育て家庭支援者派遣事業費

部局名	こども部	課名	こども育成課	課CD	09500000
-----	------	----	--------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標		一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち	主な取組み		○子どもの権利を擁護し、虐待やいじめを撲滅
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実	5つの重点目標		2 次世代を育むまちづくり
—	—	—	松本版総合戦略		⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H21～
子育ての援助を受けたい方と援助ができる方が会員になって、有料で子育てのサポートを行い、育児不安の解消や、子育て支援の環境整備をするもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
自宅での一時保育や育児に伴う家事援助を希望する利用会員家庭に、市の子育て支援講座を修了した支援会員が訪問し、子育て支援を行う。 また、ひとり親世帯、低所得世帯等に対して利用料の軽減を図るもの。
1 登録会員数 1,278人 (1) 依頼会員(自宅援助を受けたい方) 1,151人 (2) 協会員(サポーター)(援助を行いたい方) 127人
2 延べ利用件数 2,197件(H30実績)
3 子育て支援事業利用料助成金 ひとり親世帯、低所得世帯に対して、サポーター訪問事業利用料の一部を助成するもの。 助成金額は、利用料金の(平日の昼間1時間あたり800円)の1/2。 ただし、一月の上限額はファミリー・サポート・センター事業利用料での助成金と合算し1万円。 平成30年度 助成金交付件数 29件 補助金交付額 183,510円

＜現状に対する認識＞
登録者数、利用者数ともに年々増加しており、より子育てしやすい環境づくりのために必要な事業である。、利用件数も増加傾向であり、子育て家庭の需要を満たすためには、サポーターの発掘、育成が必要である。 また、支援が必要な世帯への制度の周知方法を検討し、支援が受けやすくなるように努める必要がある。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	延利用者数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	1,800	2,700	3,100	3,600	4,200
実績値	1,969	1,612	2,197		
達成度	109.4%	59.7%	70.9%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞										
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
① 事業費(千円)	983	1,106	1,255	1,240						
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	983	1,106	1,255	1,240						
② 人件費(千円)	3,931	人工	3,903	人工	3,905	人工	3,905	人工		人工
正規	3,076	0.4	3,036	0.4	3,020	0.4	3,020	0.4		
嘱託	855	0.3	867	0.3	885	0.3	885	0.3		
合計コスト①+②	4,914		5,009		5,160		5,145			
前年度比	—		101.9%		103.0%		—			

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども育成課	課CD	09500000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	子育て家庭優待パスポート事業
-------	----------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	子育て家庭優待パスポート事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

S63~

子育て家庭の経済的負担軽減を図り、子育て環境を整備するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

18歳未満の子どもを育てている市内の世帯に、協賛店で買物割引等の特典が受けられるカードを配布する。

H22から県が実施する「ながの子育て家庭優待パスポート事業」に移行した。H28からは全国の協賛店でサービスを受けられる制度に拡大し、第1子妊娠届出者に対象者が拡大された。

H30は、多子世帯プレミアムパスポートの更新年にあたり、3,531件を郵送した。

ながの子育て家庭優待パスポート

【配布世帯数:約24,000世帯、協賛店約580店舗】

多子世帯応援プレミアムパスポート

【配布世帯:約3,300世帯、協賛店約110店舗】

<現状に対する認識>

実施主体である県と協力し、協賛店の拡大と普及をしていく必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	協賛店舗数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	400	410	420	430	440
実績値	440	540	580		
達成度	110.0%	131.7%	138.1%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	587		727		574		900			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	587		727		574		900			
② 人件費(千円)	855	人工	759	人工	755	人工	755	人工		人工
正規			759	0.1	755	0.1	755	0.1		
嘱託	855	0.3								
合計コスト①+②	1,442		1,486		1,329		1,655			
前年度比	—		103.1%		89.4%		—			

事務事業評価票

事務事業名	子どもの権利推進事業
-------	------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	子どもの権利推進事業費

部局名	こども部	課名	こども育成課	課CD	09500000
-----	------	----	--------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち	主な取組み		○子どもの権利を擁護し、虐待やいじめを撲滅
基本施策(個別目標)	231	子どもの権利の推進	5つの重点目標		2 次世代を育むまちづくり
—	—	—	松本版総合戦略		⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
松本市子どもの権利に関する条例に基づき、子どもの権利の普及・啓発や子どもの相談・救済の充実、子どもの意見表明社会参加の場としてまつもと子ども未来委員会の活動など、条例が目指す子どもにやさしいまちづくりの推進を図るもの(H25.4月に条例施行)		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 子どもにやさしいまちづくり推進計画の進捗管理 子どもにやさしいまちづくり委員会を6回開催し、推進計画に基づく子ども施策等について評価、検証を実施 (自己肯定感の高い子どもの割合80%(平成32年度目標))
2 子どもの相談・救済 子どもの権利相談室「こころの鈴」を周知し、子どもや保護者等からの相談に対応 (延相談件数H31年度695件)
3 子どもの権利の普及・啓発 (1) 子どもの権利学習パンフレット等の作成及び配布 (2) 市民フォーラムの開催 (3) 子どもの権利学習会(出前学習会、ワークショップ等)の開催 (4) 小中学校の校内放送 (5) 大型店舗内でのポスター展の開催
4 子どもの意見表明と参加の促進 (1) まつもと子ども未来委員会の子どもたち(小学5年～高校3年)による市への政策提言 (2) 札幌市・奈井江町、宗像市・福津市との子ども交流事業や全国自治体シンポジウムへの参加

＜現状に対する認識＞
「子どもにやさしいまちづくり推進計画」(平成27(2015)年度～令和元(2019)年度)の第2次計画(令和2(2020)年度～令和6(2014)年度)の策定にむけ、アンケート調査の実施などにより子どもの権利条例によって子ども施策がどのように進展しているか、またどのようなことが課題かなどを検証する。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	自己肯定感の高い子どもの割合				
指標の設定理由	条例が目指す、子どもの主体的な成長につながる重要な要素であるため				
目標値	66.00%	69.50%	73.00%	76.50%	80.00%
実績値			60.70%		
達成度	0.0%	0.0%	83.2%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞								
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
① 事業費(千円)	9,508	9,770	12,898	12,180				
国・県								
利用者負担金								
その他								
一般財源	9,508	9,770	12,898	12,180				
② 人件費(千円)	6,695	人工	6,685	人工	6,725	人工		人工
正規	3,845	0.5	3,795	0.5	3,775	0.5		
嘱託	2,850	1	2,890	1	2,950	1		
合計コスト①+②	16,203		16,455		19,623		12,180	
前年度比	—		101.6%					

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども育成課	課CD	09500000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	学習支援・交流等スペース設置運営事業
-------	--------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		○子どもの権利を擁護し、虐待やいじめを撲滅
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	学習支援・交流等スペース設置運営事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H25~

主に引きこもり状態にある小・中学生等を対象として居場所を提供し、学習のサポートや相談により、引きこもり状態の改善を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 実施内容	(1) 引きこもり状態にある小・中学生等を対象に、自由に過ごしたり交流したりできる居場所を提供すること。 (2) ボランティアの指導員を募り、通所する子どもたちの学習のサポートを行うこと。 (3) 子どもと親の悩みを聞き、必要に応じて関係各所との連携を図ること。 (4) 子どもや親に、教育、子育て、子育て支援等の情報提供を行うこと。
2 開所時間	毎週水曜日・金曜日 13時~18時 月1回月曜日 13時~18時 その他、スポーツ活動の日、学習支援の日などを設けている。
3 実績	開設日 142日 延べ利用人数 1,684人
4 運営形態	業務委託

利用者の急増による施設の狭あい化が問題となっている。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	居場所利用者数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	624	624	624	624	624
実績値	1,940	1,676	1,684		
達成度	310.9%	268.6%	269.9%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	1,910		3,338		3,280		3,320			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,910		3,338		3,280		3,320			
② 人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工	755	人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1	755	0.1		
嘱託										
合計コスト①+②	2,679		4,097		4,035		4,075			
前年度比	—		152.9%		98.5%		—			

事務事業評価票

事務事業名	青少年健全育成事業
-------	-----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	青少年健全育成事業費

部局名	こども部	課名	こども育成課	課CD	09500000
-----	------	----	--------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち	主な取組み		○子どもの権利を擁護し、虐待やいじめを撲滅
基本施策(個別目標)	234	青少年の健全育成	5つの重点目標		2 次世代を育むまちづくり
—	—	—	松本版総合戦略		⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

青少年が心身ともに健康で健やかに成長するために、家庭・学校・地域社会が三位一体となって青少年健全育成に取り組むもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 青少年の健全育成と非行防止
薬物乱用防止啓発活動の実施(6月23日なぎさライフサイト、8月4日花時計公園)
- 市民意識の高揚
(1) 青少年健全育成市民大会(11月25日 223名参加)
(2) 思春期の子どもたちと向き合うための講座(3月7日、18日 延べ85人参加)
- 青少年の居場所づくり事業の推進
体育施設 3カ所、学習スペース 3カ所
- 青少年の意識の高揚
(1) 子どもまつりの開催(5月3日 10,000名参加)
(2) リーダー講習会の開催(7月28日～30日 41名参加)
- メディア・リテラシー講座の開催
市内小中学校 29校 6,849名
- 薬物乱用防止啓発講座等の開催
市内小中学校 43校 6,358名

<現状に対する認識>

核家族化の進展や、地域における人間関係の希薄化により、青少年が社会生活で必要なことを学ぶ機会や、心豊かで幅広い人間関係を築く機会が減少しています。
また、スマートフォンの普及により、インターネット利用を通じた様々な被害に青少年が巻き込まれる事件が多発していることや、ネットいじめ、健康問題といった複雑な課題もあるため、青少年のメディア・リテラシーを高めていくことが必要となっています。

<指標の達成状況>

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	青少年の居場所利用者数				
指標の設定理由	居場所の周知がどの程度浸透できているかわかるため				
目標値	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
実績値	4,903	5,563	4,254		
達成度	98.1%	111.3%	85.1%		
② 成果指標(指標名)	メディア・リテラシー講座受講者数(児童・生徒)				
指標の設定理由	より多くの子どもに受講されることが目的であるため				
目標値	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500
実績値	5,218	6,288	6,849		
達成度	80.3%	96.7%	105.4%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	6,938		7,942		11,966		6,750			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	6,938		7,942		11,966		6,750			
② 人件費(千円)	17,004	人工	16,806	人工	16,740	人工	17,004	人工		人工
正規	16,149	2.1	15,939	2.1	15,855	2.1	16,149	2.1		
嘱託	855	0.3	867	0.3	885	0.3	855	0.3		
合計コスト①+②	23,942		24,748		28,706		23,754			
前年度比	—		103.4%		116.0%		—			

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども育成課	課CD	09500000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	青少年健全育成センター運営
-------	---------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	234	青少年の健全育成
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	青少年健全育成センター運営費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

青少年の健全な育成及び非行防止を図るため、青少年育成センターを設置し、市から委嘱を受けた補導委員が、市街地及び地域での補導活動、青少年に有害な地域環境実態調査を行うもの。有害環境調査は子ども会育成連合会と合同で実施。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 街頭補導活動(S43.4 育成センター設置)
不良行為少年や非行に走りそうな少年を早期に発見して、非行の芽を摘み取り、非行に走らないように正しく導くために、「愛の一声」による補導活動を行うもの
(1) センター補導
午前23回、午後214回、夜間25回 計262回
(2) 地域補導
午前16回、午後299回 計315回
(3) 延べ577日実施、2,434人活動
- 青少年に有害な地域環境実態調査
年1回、11月に青少年に影響を与えると思われる店舗等の実態調査を行うもの
(1) 実施期間
11月1日～11月21日
(2) 調査員
165人(補導委員113人、こども会育成連合会51人、事務局1人)
(3) 調査店舗
市内280店舗(うち協力店279店舗)

<現状に対する認識>

・町会及び団体推薦の一般補導委員の高齢化が進んでおり、体力的な問題や病気等による年度途中での交代が多くなってきている。また、各町会から推薦の際に苦慮している状況もあることから、今後の担い手づくりが課題。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	有害環境実態調査協力店舗数				
指標の設定理由	青少年健全育成協力店として登録、地域での見守り活動を推進できるため				
目標値	262	262	262	262	262
実績値	253	240	279		
達成度	96.6%	91.6%	106.5%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	10,058		10,280		10,340		10,790			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	10,058		10,280		10,340		10,790			
② 人件費(千円)	4,786	人工	4,770	人工	4,790	人工	4,786	人工		人工
正規	3,076	0.4	3,036	0.4	3,020	0.4	3,076	0.4		
嘱託	1,710	0.6	1,734	0.6	1,770	0.6	1,710	0.6		
合計コスト①+②	14,844		15,050		15,130		15,576			
前年度比	—		101.4%		100.5%		—			

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども育成課	課CD	0950000
-----	------	----	--------	-----	---------

事務事業名	放課後子ども教室推進事業
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	放課後子ども教室推進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H20~

地域の方々の参画を得て、子どもたちと勉強やスポーツ等を実施することで、小学生の放課後の安全・安心な居場所づくりを推進するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

全児童を対象に、小学校の余裕教室等を利用し、自由に参加できる居場所の提供を行うもの。

1 居場所型:通常授業日の放課後、教室等を活用する。
(H30延べ利用者数 4,446人)

- (1) 源池小放課後子ども教室
- (2) 奈川小放課後子ども教室
- (3) 明善小放課後子ども教室
- (4) 安曇小放課後子ども教室

2 運動型:週1回、体育館を活用する。(H30延べ利用者数 0人)

- (1) 開明小放課後子ども教室(H30休止)
- (2) 四賀小放課後子ども教室(H30休止)

<現状に対する認識>

支援員の確保ができず、平成30年度より開明小、四賀小の2教室が休止の状態となっています。今後、教育委員会と連携して、地域の人材発掘を行う必要があります。

<指標の達成状況>

総合評価

C

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	延べ利用人数				
指標の設定理由	事業の実績を表すものであるため				
目標値	9,500	9,500	9,500	9,500	9,500
実績値	7,209	6,083	4,446		
達成度	75.9%	64.0%	46.8%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	5,830		6,057		5,131		5,840			
国・県	1,484		1,178		1,076		2,960			
利用者負担金										
その他										
一般財源	4,346		4,879		4,055		2,880			
② 人件費(千円)	2,393	人工	2,385	人工	2,395	人工	2,395	人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,510	0.2	1,510	0.2		
嘱託	855	0.3	867	0.3	885	0.3	885	0.3		
合計コスト①+②	8,223		8,442		7,526		8,235			
前年度比	—		102.7%		89.1%		—			

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども育成課	課CD	0950000
-----	------	----	--------	-----	---------

事務事業名	補助金 (子ども会育成連合会及び青少年活動団体への補助事業)
-------	-----------------------------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	234	青少年の健全育成	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

<事業の狙い>

事業計画年度

～

社会奉仕活動、自然体験などを通じ社会性を育成するなど、青少年健全育成に資するために団体に補助するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 松本市子ども会育成連合会補助金
各地区の子ども会活動や伝統文化の継承活動など青少年の健全育成事業を推進するために各地区子ども会へ交付
均等割 40,000円×30地区、41,000円×5地区
世帯割 13円×104,450世帯
- 青少年活動事業補助金
青少年団体の活動を援助することにより、団体活動の発展と参加を促進
平成30年度 補助金交付団体数 2団体
- 松本青年の家運営事業補助金(H30年度から実施)
青少年の健全育成施設である松本青年の家の運営団体へ交付
補助金交付団体 一般社団法人松本青年の家
(1) 施設修繕補助
(2) 宿泊料差額補助

<現状に対する認識>

青少年健全育成において、重要な補助金である。今後、補助金の積算根拠(世帯数から子ども数へ)も含めて検討し、多様な育成支援の機会を創出する必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	2,954		2,952		5,468		5,500			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,954		2,952		5,468		5,500			
② 人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工	769	人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1	769	0.1		
嘱託										
合計コスト①+②	3,723		3,711		6,223		6,269			
前年度比	—		99.7%		167.7%		—			

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども育成課	課CD	09500000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	休日保育事業
-------	--------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標		一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実
	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		○子どもの権利を擁護し、虐待やいじめを撲滅
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	休日保育事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

核家族・共働き家庭が増加する中、子育て家庭を支援することにより、子育て環境を整備するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

休日に、保護者が仕事・病気・冠婚葬祭等のため、家庭で保育できない幼児(市内に居住する利用日現在満1歳から就学前の児童)の保育を行うことで、子育て環境の充実を図るもの。

1 実施日 年末年始を除く日曜・祝日

2 実施時間 午前8時30分から午後5時(8時間以内)

3 実施場所 こどもプラザ(筑摩)

4 利用料金

- (1) 3歳未満児 4時間以内:1,300円
4～8時間:2,600円
- (2) 3歳以上児 4時間以内:650円
4～8時間:1,300円

5 延べ利用者数 491人(H30実績)

<現状に対する認識>

・多様な就労形態に対応するため、日曜日・祝日に保育を行うもので必要な事業である。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	延利用者数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	510	550	590	630	660
実績値	513	569	491		
達成度	100.6%	100.6%	83.2%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	1,898		1,787		1,356		1,970			
国・県										
利用者負担金	973		929		817		930			
その他										
一般財源	925		858		539		1,040			
② 人件費(千円)	1,624	人工	1,518	人工	1,510	人工	1,510	人工		人工
正規	769	0.1	1,518	0.2	1,510	0.2	1,510	0.2		
嘱託	855	0.3								
合計コスト①+②	3,522		3,305		2,866		3,480			
前年度比	—		93.8%		86.7%		—			

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども育成課	課CD	09500000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	病児保育事業
-------	--------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標		一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち	主な取組み		○子どもの権利を擁護し、虐待やいじめを撲滅
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実	5つの重点目標		2 次世代を育むまちづくり
—	—	—	松本版総合戦略		⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	病児・病後児保育事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

核家族・共働き家庭が増加する中、育児の孤立化の防止や就労支援など、子育て環境を整備するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

共働き世帯などの保護者が安心して就労できる子育て環境の充実を目的に、市内在住または市内に勤務している保護者の、生後5カ月から小学3年生までの病中の児童の保育を行うもの。

1 実施日 月～金曜(祝日・お盆・年末年始を除く)

2 実施時間 午前8時30分から午後6時

3 実施場所・定員

- (1) 相澤病院病児保育室ひだまり・4人
- (2) 梓川診療所あずさ病児保育室ハイジ・8人
- (3) 丸の内病院病児保育施設わかば・10人
- (4) まつもと医療センター病児保育室・6人

4 利用料金

(1) 保護者が市内在住

ア 保育園等に在籍:8時間まで無料、8時間超30分100円

イ ア以外:4時間以内650円、8時間まで1,300円、超過30分100円

(2) 保護者が市外在住で市内在勤

ア 4時間以内1,300円、8時間まで2,600円、超過30分200円

5 延利用者数 2,353人(H30実績 4力所合計)

<現状に対する認識>

保護者が安心して就労するために必要な事業である。
女性の社会進出に伴い利用者数は年々増加しているため、関係各所と調整を進め、丸の内病院(30年4月～)及びまつもと医療センター(30年7月～)が開設した。

今後は、引き続き、円滑な事業実施を継続するとともに、利用者への適正利用の周知を行う。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	延利用者数				
指標の設定理由	事業の評価を表すものであるため				
目標値	1,136	1,136	1,136	1,136	1,136
実績値	1,361	1,473	2,353		
達成度	119.8%	129.7%	207.1%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
① 事業費(千円)	21,088	54,501	36,299	40,380		
国・県	13,854	35,804	24,198	27,600		
利用者負担金	306	309	478	500		
その他						
一般財源	6,928	18,388	11,623	12,280		
② 人件費(千円)	1,538	人工 1518	人工 1,510	人工 1,510	人工	
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,510	0.2
嘱託						
合計コスト①+②	22,626	56,019	37,809	41,890		
前年度比	—	247.6%	67.5%	—		

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども育成課	課CD	0950000
-----	------	----	--------	-----	---------

事務事業名	病後児保育事業
-------	---------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標		一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		○子どもの権利を擁護し、虐待やいじめを撲滅
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	病児・病後児保育事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

核家族・共働き家庭が増加する中、育児の孤立化の防止や就労支援など、子育て環境を整備するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

共働き世帯などの保護者が安心して就労できる子育て環境の充実を目的に、市内在住または市内に勤務している保護者の、利用日現在満1歳から就学前の病児回復期(病気は治癒している)にある児童の保育を、看護師と保育士が行うもの。

1 実施日 月～金曜(祝日・年末年始を除く)

2 実施時間 午前8時から午後6時

3 実施場所 こどもプラザ・南郷こどもプラザ

4 利用料金

(1) 保護者が市内在住

ア 保育園等に在籍:8時間まで無料、8時間超30分100円

イ ア以外:4時間以内650円、8時間まで1,300円、超過30分100円

(2) 保護者が市外在住で市内在勤

ア 4時間以内1,300円、8時間まで2,600円、超過30分200円

5 延利用者数 223人(H30実績 2カ所合計)

<現状に対する認識>

病気が治癒しているとはいえ、体力が低下している子どもの登園等が心配な保護者の利用があり、一定の需要がある。
子育て中の保護者が安心して就労するために必要な事業である。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	延べ利用者数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	243	243	243	243	243
実績値	329	319	223		
達成度	135.4%	131.3%	91.8%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	182		172		113		200			
国・県	108		106		65		110			
利用者負担金	20		13		15		30			
その他										
一般財源	54		53		33		60			
② 人件費(千円)	12,938	人工	13,078	人工	13,310	人工		人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,510	0.2				
嘱託	11,400	4	11,560	4	11,800	4				
合計コスト①+②	13,120		13,250		13,423		200			
前年度比	—		101.0%		101.3%		—			

事務事業評価票

事務事業名	ネイチャリングフェスタイベント事業
-------	-------------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	ネイチャリングフェスタイベント事業費

部局名	こども部	課名	こども育成課	課CD	09500000
-----	------	----	--------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約		
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち	市長公約	主な取組み		
基本施策(個別目標)	234	青少年の健全育成		5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略		

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

「人と自然、ふれあいと感動」を基本テーマに未来を担う子どもたちの心と体の育成、人・自然・環境とふれあい、交流と対話を深めるイベントとして開催するもの(H12～実施)

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 期日	平成30年7月15日(日)、16日(月・祝)
2 会場	アルプス公園
3 主催	ネイチャリングフェスタ実行委員会
4 内容	(1) 27種類のハンディクラフトや野外体験プログラム(まが玉作り、押花教室、丸太切り、ロープ結びなど) (2) 親子キャンプ (3) 昆虫観察会 他
5 活動指標	来場者数 20,000人(2日間)

<現状に対する認識>

自然や環境にふれあう体験型のイベントとして定着していますが、会場や駐車場のスペースを考慮すると大幅な来場者数の増加は見込めないのが現状です。
また、親子キャンプ参加者の半数以上がリピーターであり、新たな参加者から応募が伸びていないため、PR方法の検討が必要である。

<指標の達成状況>

	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	来場者数(2日間)				
指標の設定理由	イベント開催の効果を示すものであるため				
目標値	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
実績値	22,000	22,000	22,000		
達成度	110.0%	110.0%	110.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	12,400		12,400		13,180		13,180			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	12,400		12,400		13,180		13,180			
② 人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1				
嘱託										
合計コスト①+②	13,169		13,159		13,935		13,180			
前年度比	—		99.9%		105.9%		—			

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども育成課	課CD	09500000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	安心子育て応援事業
-------	-----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標		一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		○子どもの権利を擁護し、虐待やいじめを撲滅
5つの重点目標		2 次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略		⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	安心子育て応援事業

<事業の狙い>

事業計画年度

21～

核家族・共働き家庭が増加する中、育児の孤立化の防止や就労支援など、子育て環境を整備するもの。安心して子育てできる環境を充実させることで、第2子以降の出産に希望を持つことができるようになり、人口の自然増につながることを目的とする。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 第2子以降の母子手帳交付時に、ファミリー・サポート・センター事業の10時間分無料券を配布し、第2子以降の出産時等の子育ての手助けが必要な時の利用を促すもの
 - 無料券配布人数 1,035人(H30実績)
 - 使用枚数 478枚(H30実績)
- 子育てしやすい環境づくりのために子育てを支援する人材を発掘、育成するもの子どもの病気や事故予防など、子育てに関する内容の「子育てサポーター養成講座」を開催するもの
 - 子育てサポーター養成講座 全20講座
 - 開催期間 7月から12月まで
 - 受講者数 33人(H30実績)うち、25人がサポーターとして登録

<現状に対する認識>

地方創生戦略事業の1つとして平成27年度から無料券配布事業を実施した。子育てサポーター養成講座は継続実施し、サポーターの養成に努める。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	配布人数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
実績値	1,084	1,059	1,035		
達成度	108.4%	105.9%	103.5%		
② 成果指標(指標名)	講座受講者数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	20	20	20	20	20
実績値	12	8	33		
達成度	60.0%	40.0%	60.6%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	487		428		460		420			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	487		420		460		420			
② 人件費(千円)	2,108	人工	2,096	人工	2,100	人工	2,100	人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,510	0.2	1,510	0.2		
嘱託	570	0.2	578	0.2	590	0.2	590	0.2		
合計コスト①+②	2,595		2,524		2,560		2,520			
前年度比	—		97.3%		101.4%		—			

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども育成課	課CD	09500000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	児童館整備事業
-------	---------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	児童館整備事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

S41~

児童に健全な遊びを与え、幼児又は児童を個別的、集团的に指導し、児童の健全な育成を図るための児童館・児童センターを、計画的に整備するもの。
安心して子育てできる環境を充実させることで、第2子以降の出産に希望を持つことができるようになり、人口の自然増につながることを目的とする。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 実施内容
(1) 幼児・児童の体調管理、生活環境の向上のために、施設環境の維持管理及び改善を行う。
(2) 古い木造4館(元町、蟻ヶ崎、南郷、寿台)の改築を計画的に進める。
(3) 木造以外の施設については施設整備計画に基づき小規模改修、大規模改修等を行う。
2 H30事業内容
蟻ヶ崎児童館移転改築工事
梓川児童センター増築工事

<現状に対する認識>

松本市公共施設管理計画に基づき、木造築40年の施設について、他施設との合築、統廃合を含めて検討する。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	施設整備数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	3	3	4	5	6
実績値	3	3	4		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	6,555		88,315		235,827		13,080			
国・県			19,922		59,292					
利用者負担金										
その他			45,200		155,500					
一般財源	6,555		23,193		21,035		13,080			
② 人件費(千円)	769	人工	3,036	人工	3,020	人工	3,020	人工		人工
正規	769	0.1	3,036	0.4	3,020	0.4	3,020	0.4		
嘱託										
合計コスト①+②	7,324		91,351		238,847		16,100			
前年度比	—		1247.3%		261.5%		—			

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども育成課	課CD	09500000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	児童館管理運営事業
-------	-----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	児童館管理運営費

<事業の狙い>

事業計画年度

S41~

核家族・共働き家庭が増加する中、児童に健全な遊びを与え、幼児又は少年を個別的、集団的に指導し児童の健全な育成を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

市内27館の公設・公営児童館・児童センターの管理・運営を行う。

《延べ利用者数》
 平成29年度 639,122人
 平成30年度 657,180人

<現状に対する認識>

子ども子育て支援事業計画の見直しに向けて、アンケート等で実態を把握し、適正な計画策定を行う。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	児童館延利用者数				
指標の設定理由	利用者数の増加がより多くの児童の健全な育成を図れるため。				
目標値	535,000	535,000	535,000	535,000	535,000
実績値	590,852	639,122	657,180		
達成度	110.4%	119.5%	122.8%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	363,438		392,222		411,132		487,880			
国・県	184,562		200,106		211,072		191,000			
利用者負担金										
その他(売電)	1,318		1,137		782		1,520			
一般財源	178,876		192,116		199,278		295,360			
② 人件費(千円)	6,152	人工	6072	人工	6,040	人工		人工		人工
正規	6,152	0.8	6,072	0.8	6,040	0.8				
嘱託										
合計コスト①+②	369,590		398,294		417,172		487,880			
前年度比	—		107.8%		104.7%		—			

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども育成課	課CD	09500000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	児童遊園管理事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち	市長公約	主な取組み	
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
—	—	—	松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	児童遊園管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

S39~

子どもの安心安全な遊び場を確保するため、児童遊園を管理するもの。
また、地域の子どもの遊び場として、町会が管理する簡易児童遊園の適切な維持管理を促進するため補助金を交付するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 市内に38園ある児童遊園の管理・運営を行う。
- 38園中22園に設置されたトイレを衛生的かつ快適な環境とするため、水洗化トイレや洋式トイレに整備する。H29年度の新村児童遊園の水洗化をもって、水洗化事業は終了となった。
- 町会が積極的に管理する児童遊園の適切な維持管理を担保するため、賠償責任保険及び設置・改修に関する補助金を交付するもの。

<現状に対する認識>

地域における児童遊園の利用状況等を把握し、今後のあり方を検討するとともに、適正な管理を行う。
町会設置の簡易児童遊園は減少傾向にあるが、子どもが地域で安心して過ごせる児童遊園は必要であることから、補助を継続するもの。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	10,583		13,383		10,430		10,750			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	10,583		13,383		10,430		10,750			
② 人件費(千円)	1,538	人工	1,518	人工	1,510	人工		人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,510	0.2				
嘱託										
合計コスト①+②	12,121		14,901		11,940		10,750			
前年度比	—		122.9%		80.1%		—			

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども育成課	課CD	0950000
-----	------	----	--------	-----	---------

事務事業名	留守家庭児童対策事業
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
—	—	—	松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	留守家庭児童対策費

<事業の狙い>

事業計画年度

S63~

核家族・共働き家庭が増加する中、放課後留守家庭児童の安全と健やかな成長に資する居場所の確保を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

両親が共働きなどの事業により、小学校の放課後に留守家庭となる子どもを児童館・児童センター等を利用し、登録制(有料)で預かる事業を実施。

- 1 放課後児童クラブ(公営) 29カ所
登録児童数 平成29年度 3,117人 平成30年度 3,213人
- 2 児童育成クラブ(民営) 12カ所
登録児童数 平成29年度 402人 平成30年度 378人

<現状に対する認識>

少子化により児童数は減少していますが、核家族化や両親の共働きにより、放課後の子どもの預り需要は増加傾向にあります。狭隘化が進んでいる施設もあることから、子どもたちが安心、安全に過ごすため、余裕教室の活用等についても検討が必要です。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	放課後児童クラブ(公営)延利用者数				
指標の設定理由	利用者の増減が子どもと家庭の支援に直結するため。				
目標値	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
実績値	3,398	3,519	3,591		
達成度	113.3%	117.3%	119.7%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	126,050		157,588		149,696		171,450			
国・県										
利用者負担金	83,566		87,746		97,439		90,950			
その他										
一般財源	42,484		69,842		52,257		80,500			
② 人件費(千円)	30,377	人工	19,077	人工	19,315	人工		人工		人工
正規	6,152	0.8	6,072	0.8	6,040	1				
嘱託	24,225	8.5	13,005	4.5	13,275	5				
合計コスト①+②	156,427		176,665		169,011		171,450			
前年度比	—		112.9%		95.7%		—			

こども福祉課

課長 青木 宏元

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども福祉課	課CD	09550000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	自立支援福祉事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	自立支援福祉事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

障害児の日常生活の向上、介護者の負担軽減を図るため、障害児の早期療育、放課後や長期休暇の居場所づくり、身体機能を補完するための用具の交付を行うもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- サービス利用計画作成事業
障害児通所支援利用のための、計画作成を行う。(延べ利用1,322人)
- 補装具費支給事業
身体機能を補完するための用具の交付を行い、日常生活の向上を図る。(申請件数145件)
- 児童発達支援事業
未就学の障害児に、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練、その他必要な支援を行う。(延べ利用1,399人)
- 放課後等デイサービス事業
就学中の障害児に、生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進その他必要な支援を行う。(延べ利用4,893人)
- 高額障害児福祉サービス費支給事業
世帯におけるサービス利用者負担額が算定基準額を超える場合、支給を行う。(支給対象23人)
- 保育所等訪問支援事業
専門的支援が必要と認められた障害児に対し、障害児以外の児童との集団生活への適応のための専門的な支援その他必要な支援を行う。(延べ利用5人)

<現状に対する認識>

通所事業は、事業所の増加により利用者数が増加している。しかし、利用日数や通所先が利用者の希望に沿わない場合も多くあり、需要に対する供給は十分ではない。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	234,302		323,156		396,542		368,310			
国・県	159,108		235,883		278,370		261,400			
利用者負担金										
その他										
一般財源	75,194		87,273		118,172		106,910			
② 人件費(千円)	18,257	人工	23,059	人工	22,945	人工		人工		人工
正規	17,687	2.3	22,770	3	22,650	3				
嘱託	570	0.2	289	0.1	295	0.1				
合計コスト①+②	252,559		346,215		419,487		368,310			
前年度比	—		137.1%		121.2%		—			

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども福祉課	課CD	09550000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	障害者地域生活支援事業
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	障害者地域生活支援事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

在宅重度障害児等の、日常生活の向上、介護者の負担軽減のため、日常生活の便宜を図るための用具を給付する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 日常生活用具給付等事業 在宅重度障害児等の日常生活の便宜を図るための用具を給付する。 (申請件数567件)
2 給付対象用具 ○介護・訓練支援用具 ○自立生活支援用具 ○在宅療養等支援用具 ○情報・意思疎通支援用具 ○排泄管理支援用具 ○住宅改修費

<現状に対する認識>

排泄管理支援用具の給付等、障害児の日常生活に欠かすことができない用具の給付事業となっている。
用具の種類増加や、性能の向上により、対象用具の拡大等の要望が多い事業でもある。品目の見直し等を行いながら、今後も継続して適正に給付を行いたい。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	8,629		7,667		7,189		8,190			
国・県	4,553		3,929		3,434		4,190			
利用者負担金										
その他										
一般財源	4,076		3,738		3,755		4,000			
② 人件費(千円)	6,238	人工	3,614	人工	6,170	人工		人工		人工
正規	5,383	0.7	3,036	0.4	5,285	0.7				
嘱託	855	0.3	578	0.2	885	0.3				
合計コスト①+②	14,867		11,281		13,359		8,190			
前年度比	—		75.9%		118.4%		—			

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども福祉課	課CD	09550000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	身体障害者福祉
-------	---------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	身体障害者福祉費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

心身障害児を持つ家族の介護負担軽減及び、経済的負担軽減を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 タクシー利用料金・自動車燃料費助成事業
重度障害児の社会活動の範囲を広げるとともに、その世帯の経済的負担軽減を図るため、タクシー利用料金・自動車燃料費の助成を行う。(支給人数118人)
- 2 心身障害者・児タイムケア事業
障害児が一時的に家庭において介護を受けることができない場合、生活を支援するため事業登録者が介護サービスを提供する。(延べ利用991人)
- 3 ストマ用補装具自己負担額助成事業
重度障害児のストマ、紙おむつ購入の際の自己負担を助成することにより、経済的負担を軽減する。(申請件数178件)
- 4 軽度・中等度難聴児補聴器購入助成事業
補装具支給制度対象外の難聴児に対し、補聴器購入の助成を行うことにより、補聴器の早期装用を促し、聴力向上を図る。(申請件数18件)

<現状に対する認識>

利用件数や時間に大幅な増加は見られないが、需要は確実にある事業のため、引き続き行っていきたい。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	8,671		9,574		10,611		10,040		0	
国・県	3,130		3,475		4,171		3,790			
利用者負担金										
その他										
一般財源	5,541		6,099		6,440		6,250			
② 人件費(千円)	4,130	人工	7,228	人工	4,070	人工	0	人工	0	人工
正規	3,845	0.5	6,072	0.8	3,775	0.5	0		0	
嘱託	285	0.1	1,156	0.4	295	0.1	0		0	
合計コスト①+②	12,801		16,802		14,681		10,040		0	
前年度比	—		131.3%		87.4%		68.4%		0.0%	

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども福祉課	課CD	09550000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	知的障害者福祉
-------	---------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	知的障害者福祉費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

障害児通園施設を利用する障害児の利用者負担を軽減し、障害児の早期療育、子育て支援の充実を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 障害児通園施設療育支援事業
就学前児童が2人以上いる世帯で、1人目が保育所等に通所し、2人目が児童発達支援事業を利用する児童に対し、利用者負担の補助を行う。
(支給対象者9人)
- 2 心身障害者・児通所通園等推進事業
県内対象施設に入所・通所している障害児の保護者に対し、自動車利用の対象交通費助成を行う。
(支給対象者11人)

<現状に対する認識>

対象者数に大きな変動はない。引き続き助成事業を行い、介護者負担軽減、通所等の拡大を図りたい。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	313		285		211		320			
国・県	81		89		73		110			
利用者負担金										
その他										
一般財源	232		196		138		210			
② 人件費(千円)	1,538	人工	1,518	人工	1,510	人工		人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,510	0.2				
嘱託										
合計コスト①+②	1,851		1,803		1,721		320			
前年度比	—		97.4%		95.5%		—			

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども福祉課	課CD	09550000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	補助金(日中活動の場整備促進事業)
-------	-------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

<事業の狙い>

事業計画年度

～

障害者等が、日中活動を行う場の整備促進を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 日中活動の場整備促進事業
 障害者等共同作業所等の日中活動を行う場を提供する団体に、借地料の助成を行う。
 (補助対象施設 1施設)

<現状に対する認識>

障害児通所施設を運営する民間団体の、安定的な運営のため必要不可欠な支援策となっている。
 対象施設は障害児支援の中核を担う団体であるため、今後も継続して行いたい。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	600		600		600		600			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	600		600		600		600			
② 人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1				
嘱託										
合計コスト①+②	1,369		1,359		1,355		600		0	
前年度比	—		99.3%		99.7%		44.3%		0.0%	

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども福祉課	課CD	09550000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	福祉医療費給付事業
-------	-----------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	福祉医療費給付事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

乳幼児、児童、障害者、母子家庭の母子、父母のない児童及び父子家庭の父子の健康保持と福祉の増進を図るため、乳幼児等が療養の給付又は療養費の支給等を受けたときに、福祉医療費給付金を支給するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

福祉医療対象者のうち、中学校卒業までの子どもの医療費を1カ月1医療機関の保険適用後の窓口負担を500円とするもの(現物給付方式)。

また、障害者支援医療及びひとり親家庭等支援医療の16歳以上の方について、医療機関に支払った保険適用医療費自己負担の額から高額療養費、付加給付金及び受給者負担金500円を除いた額を毎月13日に支給するもの(償還払い方式)。

- 子育て支援医療(乳幼児等)
0歳～中学校3年生
- 身体障害者手帳1・2級、療育手帳A1
身体障害者手帳3・4級、療育手帳A2・B1
特別児童扶養手当1・2級
精神障害者保健福祉手帳1・2級
- ひとり親家庭支援医療
配偶者のない女子で、18歳未満児童を扶養する母とその子
18歳未満の父母のない児童等
配偶者のない男子で、18歳未満の児童を扶養する父とその子

<現状に対する認識>

・子どもの医療費助成について入院・通院ともに中学校3年生まで助成対象としているが、県の子ども(乳幼児等)の福祉医療費給付事業補助金は、通院が小学校就学前までであり、本市の財政負担が大きいことから、補助拡大について県への働きかけが必要

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	816,645		825,238		931,221		811,990			
国・県	232,376		237,168		258,645		231,270			
利用者負担金										
その他	1,116		1,717		2,850		2,940			
一般財源	583,153		586,353		669,726		577,780			
② 人件費(千円)	21,080	人工	20,960	人工	21,000	人工		人工		人工
正規	15,380	2	15,180	2	15,100	2				
嘱託	5,700	2	5,780	2	5,900	2				
合計コスト①+②	837,725		846,198		952,221		811,990			
前年度比	—		101.0%		112.5%		—			

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども福祉課	課CD	09550000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	福祉手当給付事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	福祉手当給付事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

在宅の重度の障害児に対し、その障害によって生ずる特別な負担の軽減の一助として手当を支給することにより福祉の増進を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

特別児童扶養手当等の支給に関する法律第17条の規定に基づき、支給するもの。

- 支給要件
20歳未満で、日常生活で常時介護を必要とする在宅の重度障害者
- 平成30年度の支給月額
14,650円
- 支給月
2月、5月、8月、11月
- 平成30年度支給実績
99人

<現状に対する認識>

日常生活において常時介護を必要とする在宅の重度障害児の負担軽減を図るもの。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	19,469		17,193		17,419		17,580			
国・県	14,601		12,895		12,987		13,190			
利用者負担金										
その他										
一般財源	4,868		4,298		4,432		4,390			
② 人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1				
嘱託										
合計コスト①+②	20,238		17,952		18,174		17,580			
前年度比	—		88.7%		101.2%		—			

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども福祉課	課CD	09550000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	障害児福祉
-------	-------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	障害児福祉費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

放課後や休日等、障害児に対し適切な遊びと生活の場を提供する。
障害のある子どもを主な対象に、子どもの成長発達を促すためにおもちゃの貸出しを行なうもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 障害児放課後等交流促進事業
放課後や休日に、障害児(義務教育対象児)に適切な遊びや生活の場を提供するため、事業をNPO法人に委託する。
 - 2 障害のある子どもを主な対象に、子どもの成長発達を促すためにおもちゃの貸出しを行なうもの。(運営は、ボランティアグループの皆さんによって行われています。)
- 南部おもちゃ図書館(総合社会福祉センター1階)
第4土曜日 午後1時～3時
 - 北部おもちゃ図書館(北部福祉複合施設ふくふくらす内)
第1火曜日 午前10時～午後3時
第3土曜日 午後1時～3時

<現状に対する認識>

- 1 障害児放課後等交流促進事業については県事業廃止に伴い、令和元年度は事業廃止

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	2,809		2,809		2,810		360			
国・県	1,089		1,195		1,220					
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,720		1,614		1,590		360			
② 人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1				
嘱託										
合計コスト①+②	3,578		3,568		3,565		360			
前年度比	—		99.7%		99.9%		—			

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども福祉課	課CD	09550000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	交通及び災害遺児等福祉金
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	交通及び災害遺児等福祉金給付事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

18歳未満の児童で交通事故又は自然災害、労働災害等により父又は母を失った遺児等の福祉の増進を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

松本市交通及び災害遺児等福祉金条例に基づき、交通事故又は災害事故により、市内に住所を有していた父又は母が死亡、又は障害者となった満18歳に満たない児童に、交通及び災害遺児等福祉金を支給し、福祉の増進を図るものです。

1 福祉金支給額

- (1) 申請時
世帯一時金 児童1人 55,000円
- (2) 年額
児童1人 60,000円(所得が一定額以上の場合、50,000円)
- (3) 小中学校入学等一時金(4月1日時点、満6歳12歳の児童)
児童1人 100,000円

2 平成30年度支給実績

- (1) 申請時世帯一時金 なし
- (2) 年額 21人
- (3) 入学等一時金 2人

<現状に対する認識>

・交通事故等で父または母を失った児童等の福祉の増進を図るため、今後も継続して適正に給付を行っていく。
・この制度を知らない市民も多いため、広く市民に周知をしていく。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	1,775		1,320		1,655		1,760			
国・県										
利用者負担金										
その他	1,775		1,320		1,655		1,760			
一般財源										
② 人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1				
嘱託										
合計コスト①+②	2,544		2,079		2,410		1,760			
前年度比	—		81.7%		115.9%		—			

事務事業評価票

事務事業名	児童福祉事務
-------	--------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	児童福祉事務費

部局名	こども部	課名	こども福祉課	課CD	09550000
-----	------	----	--------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	231	子どもの権利の推進	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜事業の狙い＞	事業計画年度	28～32
<ul style="list-style-type: none"> 関係機関の連携により、要保護児童の早期発見、対応を推進する 研修等へ参加し、職員の専門性・資質向上を図り、指導体制の充実を図る 肢体不自由児者の福祉向上と社会参加の推進を図る 障害の有無に関係なく、キャンプをとおしてお互いを理解し友情を深める活動をしている団体に助成するもの 		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
虐待や非行などの要保護児童等に関する問題について、関係機関等の連携により組織的に対応し、要保護児童等の早期発見及び適切な支援を行う。
1 要保護児童対策地域協議会の開催 児童福祉法に位置づけられた23関係機関による協議会
2 JIAM児童虐待防止研修会への参加
3 県外先進地視察の実施
4 肢体不自由児の保護者を中心とした団体活動により、福祉増進と社会参加を図るもの
5 障害のある子ない子とボランティアがキャンプをとおして交流し、お互いを理解し友情を深める(H30担い手不足により未実施)
6 乳児院との連携による養育支援事業【令和元年度新規事業】

＜現状に対する認識＞
児童虐待相談件数は、増加傾向にあり、要保護児童やその家庭への効果的な支援につなげるため、地域や関係機関との連携強化により、子どもの置かれた環境等を的確に捉え、児童虐待の未然防止や早期発見、早期対応に努めることが重要となっています。
障害児の社会参加と福祉向上のため活動している団体への補助は、今後も引き続き支援が必要です。

＜指標の達成状況＞	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
① 事業費(千円)		952	990	490	1,880		
	国・県	70	300	180	30		
	利用者負担金						
	その他						
	一般財源	882	690	310	1,850		
② 人件費(千円)	21,279	人工	20,093	人工	20,115	人工	
	正規	16,149	2.1	15,180	2	15,100	2
	嘱託	5,130	1.8	4,913	1.7	5,015	1.7
合計コスト①+②		22,231	21,083	20,605	1,880		
前年度比		—	94.8%	97.7%	—		

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども福祉課	課CD	09550000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	ひとり親家庭等相談事業
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	ひとり親家庭等相談事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

ひとり親家庭の総合的な相談に応じ、その自立を促すため必要な助言や指導を行い、その福祉の増進を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 自立支援教育訓練給付金事業
母子父子家庭の親が職業能力の開発のため、厚生労働省の指定する講座を受講する場合に費用の60%(上限20万円)を給付する。
- 高等職業訓練促進費事業
ひとり親家庭の者が就職に有利な資格取得をするため、養成機関(1年以上のカリキュラム)に就学する場合、その期間の生活の負担軽減を図り、資格取得を促進する。
- 母子寡婦福祉会
市内在住の母子・父子・寡婦が会員となり、自立促進のため活動を行い、定例会や親子参加の交流事業を開催し、情報交換等を行っている。
- バスハイク事業
経済力の乏しいひとり親家庭を対象に親子が一日を楽しく過ごせるよう事業を実施し、親子間の親睦を深め、福祉の増進を図る。
- 母子父子寡婦福祉資金貸付金利子補給事業
母子及び父子・寡婦家庭の経済的自立の助長と、その生活意欲の助長を図り、その家庭の福祉の増進のため。

<現状に対する認識>

ひとり親は、「パート、アルバイト等」により生計を立てている等、生活が不安定な場合が多く、修学に関して専門的な資格取得や生活資金貸付の生活基盤を安定させる支援が必要。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	11,238		15,224		14,777		16,500			
国・県	9,800		13,125		9,990		12,940			
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,438		2,099		4,787		3,560			
② 人件費(千円)	4,388	人工	8,816	人工	8,920	人工		人工		人工
正規	1,538	0.2	3,036	0.4	3,020	0.4				
嘱託	2,850	1	5,780	2	5,900	2				
合計コスト①+②	15,626		24,040		23,697		16,500			
前年度比	—		153.8%		98.6%		—			

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども福祉課	課CD	09550000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	養育医療費給付事業
-------	-----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	養育医療費給付事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

母子保健法(昭和40年法律第141号)第20条の規定に基づく養育医療の給付をするもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

出生時の体重が2000g以下またはその他の理由により、指定養育医療機関の医師が入院を必要と認めた場合、その医療費の一部を公費で負担するもの。

- 平成30年度実績 66人
- 受給者負担金 500円(医療機関窓口負担 0円)
申請後の精算
- 申請受付事務
医師の意見書を基に審査を行い、認定者に医療券を交付する
- 公費負担金 松本市福祉医療費給付事業

<現状に対する認識>

未熟児は、死亡率がきわめて高く、心身の障害を残すことも多いことから、生後速やかに適切な処置を講じ、こどもの健やかな成長を支援している。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	21,750		18,469		17,728		19,170			
国・県	12,405		13,050		8,878		11,550			
利用者負担金										
その他	3,983		3,833		3,397		3,740			
一般財源	5,362		1,586		5,453		3,880			
② 人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工	2,265	人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,265	0.3				
嘱託										
合計コスト①+②	24,057		20,746		19,993		19,170			
前年度比	—		86.2%		96.4%		—			

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども福祉課	課CD	09550000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	育成医療費給付事業
-------	-----------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	育成医療費給付事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第58条の規定に基づく育成医療の給付をするもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

18歳未満で身体に障害があるお子さんや、今ある疾患を放置すると将来障害が残ると認められるお子さんが、手術などの確実な効果が期待できる治療を行う場合に、治療費の一部を公費で負担するもの。

- 平成30年度実績 69人
- 受給者負担金 500円(医療機関窓口負担 500円)
- 申請受付事務
医師の意見書を基に審査を行い、認定者に医療券を交付する
- 公費負担金 松本市福祉医療費給付事業

<現状に対する認識>

身体上障害のある子どもや、今ある疾患を放置すると将来障害が残ると認められる子どもの手術などの治療にかかる医療費を公費で一部負担することにより、子どもの健やかな成長を支援している。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	11,127		10,233		8,087		10,670			
国・県	8,454		8,436		7,956		7,950			
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,673		1,797		131		2,720			
② 人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工	2,265	人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,265	0.3				
嘱託										
合計コスト①+②	13,434		12,510		10,352		10,670			
前年度比	—		93.1%		82.7%		—			

事務事業評価票

事務事業名	子どもの未来応援事業
-------	------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	子どもの未来応援事業

部局名	こども部	課名	こども福祉課	課CD	09550000
-----	------	----	--------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち	主な取組み		○子どもの権利を擁護し、虐待やいじめを撲滅
基本施策(個別目標)	231	子どもの権利の推進	5つの重点目標		2 次世代を育むまちづくり
—	—	—	松本版総合戦略		⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

＜事業の狙い＞	事業計画年度	28～32
・本市における子どもの貧困対策として、子どもの権利に関する条例に基づき、子どもたちが自らの力で未来を選択できる力を養うことを目指す。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
子どもたちを取り巻く成育環境が悪化し、子どもの権利が侵害される恐れのある状態を「子どもの貧困」と捉え、こうした状況にも屈しないよう、子どもたちの自己肯定感向上を図る事業を実施するもの。
1 庁内推進会議 松本市子どもの未来応援指針に基づき、部局横断による効果的な事業展開推進を目的に開催
2 実態調査 市内における子どもの貧困の実態把握に向けた調査を実施
3 子どもの居場所づくり交付金団体との連絡会議等開催 交付金を活用し、どもの居場所づくりや学習支援に取り組む団体との連絡会議を開催し、お互いの運営状況等に関する情報共有を行なうとともに、効果的な事業実施のあり方について意見交換を行った。(5団体6会場に交付)
4 子どもの居場所づくり事業報告会の開催 子どもの孤食や欠食を防ぎ、学習支援や世代間交流を行う地域の居場所拡大を目指し、交付団体による報告会を開催

交付金事業について、平成30年度から「子どもの居場所づくり事業」と「三世交代交流食堂事業」を一本化し、「子どもの居場所づくり推進事業」とすることで、それぞれの団体の特色を活かした取り組みが実現しやすくなるよう見直しを行なう。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	自分のことが好きだとする子どもの割合				
指標の設定理由	自己肯定感を図る指標のため				
目標値	62.2	66.65	71.1	75.55	80
実績値	62.2	-	60.7		
達成度	100.0%	-	85.4%		
② 成果指標(指標名)	まわりの人から大切にされていると感じている子どもの割合				
指標の設定理由	自己肯定感を図る指標のため				
目標値	82.7	84.53	86.35	88.18	90
実績値	82.7	-	82.6		
達成度	100.0%	-	95.7%		

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
① 事業費(千円)		0	805	2,560	3,540		
	国・県						
	利用者負担金						
	その他						
	一般財源	0	805	2,560	3,540		
② 人件費(千円)	3,845	人工	2,277	人工	1,510	人工	
	正規	3,845	0.5	2,277	0.3	1,510	0.2
	嘱託						
合計コスト①+②	3,845	3,082	4,070	3,540			
前年度比	-	80.2%	132.1%	-			

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども福祉課	課CD	09550000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	こんにちは赤ちゃん事業
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		○子どもの権利を擁護し、虐待やいじめを撲滅
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	こんにちは赤ちゃん事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

乳児家庭と地域をつなぎ乳児家庭の孤立化を防ぐため、子育て支援に関する必要な情報提供を行う。また、支援が必要な家庭に対して、適切なサービス提供することで地域で子どもが健やかに育つ環境整備を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

生後4カ月までの乳児のいる全ての家庭を各地区の民生・児童委員や主任児童委員が訪問し、子育てガイドブックにより子育て支援に関する情報提供を行います。また、母子に関する悩みを聞き、必要とする適切なサービスへ結び付け、乳児家庭の孤立化を防ぎ乳児の健全育成を支援する事業です。
また、食の大切さ・木のぬくもりをつたえるため、ファーストスプーンとして「手作りの木製スプーン」を贈っています。

平成30年度実績

訪問対象児 1,847人
訪問実施数 1,662人
訪問率 90.0%

<現状に対する認識>

生後4ヶ月までの乳児のいる家庭に対して、9割以上家庭訪問が実施され、長期不在等で訪問できなかった家庭にも4ヶ月健診、10ヶ月健診までに対象児全ての状況確認ができています。
支援が必要な家庭に対して、必要なサービスを提供できています。
事業開始から8年が経過し、活動が周知されてきている。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	子育て支援が必要な家庭に対して支援の実施割合				
指標の設定理由	子育て支援が必要な家庭に対して支援の状況を把握できるため				
目標値	80	85	90	95	95
実績値	100	100	100		
達成度	125.0%	117.6%	111.1%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	2,866		2,587		3,503		3,350			
国・県	955		861		1,193		1,115			
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,911		1,726		2,310		2,235			
② 人件費(千円)	1,909	人工	4,770	人工	1,935	人工		人工		人工
正規	769	0.1	3,036	0.4	755	0.1				
嘱託	1,140	0.4	1,734	0.6	1,180	0.4				
合計コスト①+②	4,775		7,357		5,438		3,350			
前年度比	—		154.1%		73.9%		—			

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども福祉課	課CD	09550000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	あるぷキッズ支援事業
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		○子どもの権利を擁護し、虐待やいじめを撲滅
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	あるぷキッズ支援事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

発達障害及び発達に心配のある子どもとその保護者並びに発達障害児と毎日関わる支援者を、総合的に継続して支援するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 相談窓口
発達障害及び発達に関する相談を、支援チームの専門職員が対応
- 巡回支援
子どもたちが毎日生活する保育園・幼稚園・学校等での困難に対し、専門支援チームが巡回し、対応方法等についての助言を行う。
平成30年度実績 延べ227施設、975人
- あるぷキッズサポート手帳の配付
子どもの情報や経過等を記入し、保護者と支援者が情報を共有し、共通理解のうえで適切な支援に役立てるもの。
平成30年度実績 16冊配付
- あそびの教室
未就園の親子に対し、生活体験やあそびを通して発達を促したり、親子関係を豊かにするための教室
平成30年度実績 延べ372回、3,339人
- 保護者支援(ペアレントトレーニング)
発達障害等で、子どもの対応に困難を抱えている保護者が、子どもの行動を適切に理解し、その対処方法を具体的に学び、親子関係を良好にするための講座
平成30年度実績 延べ33回、167人

<現状に対する認識>

今後益々増加する発達障害児支援のニーズに的確に対応するため、本事業の位置づけと今後の役割を明確にする必要がある。そのため、発達障害児支援の骨格となる基本指針を策定する。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	「あそびの教室」参加者の満足度				
指標の設定理由	教室に参加したことによる子どもの変化・保護者自身の変化が満足度として表されるため				
目標値	97.00%	97.00%	97.50%	97.50%	98.00%
実績値	98.40%	95.00%	95.90%		
達成度	101.4%	97.9%	98.4%		
② 成果指標(指標名)	「巡回が役に立った」と回答した施設の割合				
指標の設定理由	巡回により対象児及び保育士・教諭等の変化が「役に立った」という数値として表されるため				
目標値	59.00%	59.00%	59.50%	59.50%	60.00%
実績値	56.80%		40.54%		
達成度	96.3%	0.0%	68.1%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	15,436		16,860		17,000		23,950			
国・県										
利用者負担金	245		210		350		350			
その他										
一般財源	15,191		16,650		16,650		23,600			
② 人件費(千円)	75,861	人工	72,601	人工	72,745	人工		人工		人工
正規	53,061	6.9	52,371	6.9	52,095	6.9				
嘱託	22,800	8	20,230	7	20,650	7				
合計コスト①+②	91,297		89,461		89,745		23,950			
前年度比	—		98.0%		100.3%		—			

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども福祉課	課CD	09550000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	留守家庭児童対策
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	231	子どもの権利の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	留守家庭児童対策費

<事業の狙い>

事業計画年度 28~32

家庭での養育が困難な状態の児童を一時的に預かることにより、保護者の育児不安、疲れの軽減を図る。また、児童に安全に生活環境を提供する

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

児童養護施設との委託契約により家庭での養育が困難の状態の児童を最長7泊8日の期間預かるもの。

子育て支援ショートステイ事業

1 委託先

- (1) 松本赤十字乳児院(原則として2歳未満の児童)
- (2) 松本児童園(原則として2歳以上18歳以下の児童)

2 委託料(1泊あたり)

	2歳児未満	2歳児以上
生活保護世帯	@10,700	@5,500
非課税世帯	@ 9,600	@4,500
その他世帯	@ 5,350	@2,750

<現状に対する認識>

核家族化の進行や、家庭養育力の低下に伴い、前年度までの利用量は増加傾向にありましたが、世帯の異動等に伴い、平成30年度は例年の半数程度の利用となりました。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	2,930		3,060		1,500		1,530			
国・県	1,660		1,984		1,000		1,000			
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,270		1,076		500		530			
② 人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1				
嘱託										
合計コスト①+②	3,699		3,819		2,255		1,530			
前年度比	—		103.2%		59.0%		—			

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども福祉課	課CD	09550000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	児童虐待防止啓発事業
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	231	子どもの権利の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	児童虐待防止啓発事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

児童虐待の発生防止に向け、市民に向けた啓発活動を実施するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

児童虐待防止について広く周知し、住民ひとりひとりが周囲の子どもたちに関心を持つよう意識の向上を図るとともに、子育てに悩む保護者等からの相談に対応するもの。

1 オレンジリボンキャンペーン(児童虐待防止啓発活動)の実施

- (1) 広報まつもとへの記事掲載
- (2) 懸垂幕、横断幕の掲示
- (3) タスキリレーへの参加と啓発物品配布
- (4) 映画上映会、パネルディスカッションの開催

2 子育て練習法トレーナー養成講座受講

- (1) トレーナー養成講座への出席
- (2) 講座の開講

3 要保護児童対策地域協議会研修会の開催

<現状に対する認識>

児童虐待事案が発生すると一時的には報道が行われますが、やがて家族の問題として収束してしまう傾向があります。家庭や学校、地域など社会全般にわたり、児童虐待問題に対する深い関心と理解が得られるよう、引き続き関係者の積極的な参加を求め、協働して児童虐待防止対策への取組みを行うことが必要と考えます。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	790		270		270		270			
国・県	246		180		180		180			
利用者負担金										
その他										
一般財源	544		90		90		90			
② 人件費(千円)	2,108	人工	2,096	人工	2,100	人工		人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,510	0.2				
嘱託	570	0.2	578	0.2	590	0.2				
合計コスト①+②	2,898		2,366		2,370		270			
前年度比	—		81.6%		100.2%		—			

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども福祉課	課CD	09550000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	児童扶養手当給付事業
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	児童扶養手当給付事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

父又は母と生計を同じくしていない児童が育成される家庭の生活の安定と、自立の促進に寄与すると共に児童福祉の増進を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

次のいずれかに該当する18歳(誕生日後の3月31日までの間を含む)の子、又は20歳未満の障害児を監護する父母等に支給するもの。

- ・父母が婚姻解消
- ・父又は母が死亡又は生死不明の児童
- ・父又は母が重度の障害の状態にある児童
- ・父又は母が引き続き1年以上拘禁、又は遺棄されている児童
- ・父又は母が裁判所からのDV保護命令を受けた児童
- ・母が婚姻によらないで懐胎した児童

1 平成30年度支給額

- (1) 1人目 42,500円(一部支給の場合42,490円～10,030円)
- (2) 2人目 10,040円～5,020円を加算
- (3) 3人目 6,020円～3,010円を加算

2 平成30年度実績 1,944人

<現状に対する認識>

・父又は母と生計を同じくしていない児童が育成される家庭の生活の安定と、自立の促進に寄与している。
 ・現在、4月、8月、12月にそれぞれの前月分までの4カ月分を支給しているが、平成31年11月支給からは、年6回(2カ月分)奇数月に変更となります。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	946,067		953,525		927,266		1,149,540			
国・県	315,731		317,841		309,070		382,650			
利用者負担金										
その他										
一般財源	630,336		635,684		618,196		766,890			
② 人件費(千円)	13,390	人工	13,370	人工	13,450	人工		人工		人工
正規	7,690	1	7,590	1	7,550	1				
嘱託	5,700	2	5,780	2	5,900	2				
合計コスト①+②	959,457		966,895		940,716		1,149,540			
前年度比	—		100.8%		97.3%		—			

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども福祉課	課CD	09550000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	児童手当給付事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	231	子どもの権利の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	児童手当給付事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

児童手当法第8条の規定に基づき児童手当を支給するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

中学校卒業まで(15歳の誕生日後の最初の3月31日まで)の児童を養育している方へ支給する。

- 支給額(児童手当の1人当たり月額)
3歳未満:一律15,000円
3歳以上小学校修了前:10,000円(第3子以降は15,000円)
中学生:一律10,000円
- 児童を養育している方の所得が所得制限限度額以上の場合、
「特例給付」として月額一律5,000円を支給
- 支給時期
毎年6月、10月、2月にそれぞれの前月分までの手当を支給

<現状に対する認識>

・児童を養育している家庭の生活の安定に寄与している。
・所得制限がある手当となる為、父又は母の所得の高い方に受給者となっているため、事情があり別居している場合でも受給者の切替が簡単に行えないため、負担になるケースがある。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	4,014,164		3,936,105		3,868,253		3,804,520			
国・県	3,402,223		3,336,536		3,277,283		3,228,700			
利用者負担金										
その他										
一般財源	611,941		599,569		590,970		575,820			
② 人件費(千円)	13,616	人工	0	人工	13,520	人工		人工		人工
正規	10,766	1.4	10,626	1.4	10,570	1.4				
嘱託	2,850	1	2,890	1	2,950	1				
合計コスト①+②	4,027,780		3,936,105		3,881,773		3,804,520			
前年度比	—		97.7%		98.6%		—			

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども福祉課	課CD	09550000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	助産施設委託事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	助産施設委託事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

児童福祉法の規定により、経済的な理由等から分娩費に困窮している妊婦に対して、出産費用を一部公費負担をすることで、福祉の向上を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

保健上必要があるにもかかわらず、経済的に困窮しており、病院等施設における出産費用を負担できない方について、本人から申請があった場合に妊婦を助産施設に入所させ、出産費用の一部を公費で負担するもの。

1 対象者

- (1) 生活保護受給世帯(A階層)
- (2) 当該年度の市民税非課税世帯(B階層)
- (3) 当該年度の市民税均等割のみ課税世帯(C1階層)
- (4) 当該年度の市民税所得割が課税されているが、前年度分の所得が課税されていない世帯(C2階層)

※B階層並びにC階層については、徴収金が課せられます。

1 委託先

信大病院、市立病院

2 平成30年度実績

5件

<現状に対する認識>

経済的な理由等から分娩費に困窮している妊婦に対して、出産費用を一部公費負担をすることで、安全に安心して出産ができる

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	3,682		1,001		1,683		2,340			
国・県	2,822		647		1,441		1,620			
利用者負担金	160		320		80		160			
その他										
一般財源	700		34		242		560			
② 人件費(千円)	2,194	人工	1,518	人工	1,510	人工		人工		人工
正規	769	0.1	1,518	0.2	1,510	0.2				
嘱託	1,425	0.5								
合計コスト①+②	5,876		2,519		3,193		2,340			
前年度比	—		42.9%		126.8%		—			

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども福祉課	課CD	09550000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	母子生活支援施設管理運営
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	母子生活支援施設管理運営費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

生活の安定が脅かされたり、生活上の諸問題があるために子どもの養育が十分できない母子世帯を入所させ、生活の安定と自立を図る

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

住宅・経済的困窮等の問題により、子どもの養育が十分に出来ない母子世帯を入所させ、生活全般を支援し、自立の促進を図るもの

1 支援内容

- (1) 母子の健康、育児、家事に関する相談
- (2) 子どもからの相談
- (3) 自立のための部屋さがし
- (4) 就労支援
- (5) 金銭管理についての支援
- (6) 離婚等法的支援

2 平成30年度実績
10世帯

<現状に対する認識>

母子が安心して生活できる環境を保障し、傷ついた生活を癒し、自立した生活が営める力をつけ、子どもが健やかに成長できるよう生活全般に対する支援が必要。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	6,936		7,554		6,438		7,980			
国・県	6,113		2,455		1,126		1,628			
利用者負担金	58									
その他	1									
一般財源	764		5,099		5,312		6,352			
② 人件費(千円)	12,938	人工	13,078	人工	13,310	人工		人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,510	0.2				
嘱託	11,400	4	11,560	4	11,800	4				
合計コスト①+②	19,874		20,632		19,748		7,980			
前年度比	—		103.8%		95.7%		—			

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども福祉課	課CD	09550000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	母子広域措置
-------	--------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	母子広域措置費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

配偶者等からのDVにより、市内での生活に危険性がある母子に対し、広域で保護を実施し、安全を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

DV等により、配偶者等の加害者からの追跡を避けるため母子ホームに入所させられない母子に対して、市外の母子生活支援施設へ入所措置するもの。

1 平成30年度実績
1件

<現状に対する認識>

DV等により、配偶者等の加害者からの追跡がある母子に対して、女性相談センターをはじめ関係機関と連携し、安全が図れる市外の母子生活支援施設へ入所措置が図れるよう支援が必要。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)										
国・県			1,765		358		2,750			
利用者負担金			1,323		268		2,062			
その他										
一般財源			442		90		688			
② 人件費(千円)	3,732	人工	2,963	人工	2,985	人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	1,518	0.2	1,510	0.2				
嘱託	1,425	0.5	1,445	0.5	1,475	0.5				
合計コスト①+②	3,732		4,728		3,343		2,750			
前年度比	—		126.7%		70.7%		—			

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	こども福祉課	課CD	09550000
-----	------	----	--------	-----	----------

事務事業名	特別児童扶養手当進達事務
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	特別児童扶養手当進達事務

<事業の狙い>

事業計画年度

～

精神又は身体に重度の障害を持つ児童を養育する保護者に手当を支給することにより、生活の安定と福祉の増進を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

療育手帳A1、A2、B1程度、身体障害者手帳1～4級程度に該当する20歳未満の障害児を家庭で監護、養育する父母等に支給する特別児童扶養手当の事務手続きを行い、県に進達するもの。

- 1 平成30年度支給額
1級該当児 51,700円
2級該当児 34,430円

- 2 平成30年度支給実績 762人

<現状に対する認識>

障害を持つ児童を養育する保護者の生活の安定と福祉の増進に寄与している。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	0		0		0		0			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源										
② 人件費(千円)	3,076	人工	3,036	人工	3,020	人工		人工		人工
正規	3,076	0.4	3,036	0.4	3,020	0.4				
嘱託										
合計コスト①+②	3,076		3,036		3,020		0			
前年度比	—		98.7%		99.5%		—			

保育課

課長 田原 茂

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	保育課	課CD	0960000
-----	------	----	-----	-----	---------

事務事業名	私立保育所等運営事業
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	233	保育環境の充実	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	私立保育所等運営事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

私立保育所等の運営に係る経費を支弁することで、安定的な運営に資するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

児童福祉法第45条の最低基準を維持するための経費に対する補助

- 事業費
 - (1)一般生活費
 - ・給食材料費、保育材料費、教材費、光熱水費
- 人件費
 - (1)本俸
 - (2)手当
 - (3)社会保険料
 - (4)非常勤職員雇用費
- 管理費
 - (1)旅費
 - (2)庁費(備品費、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費、光熱水費、会議費)
 - (3)職員研修費
 - (4)被服費
 - (5)職員健康管理費
 - (6)保健衛生費
 - (7)補修費

<現状に対する認識>

私立保育園及び認定こども園に通う児童の保育環境及び保育士の処遇改善等の向上が図れる。
また、私立保育園も公立保育園と同じ水準で保育事業が実施できるとともに、保育士の安定的な確保が可能となる。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	私立保育所月平均児童数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	1,056	1,069	1,077	1,084	1,092
実績値	1,062	1,116	1,137		
達成度	100.6%	104.4%	105.6%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	868,453		1,075,004		1,138,723		1,270,520			
国・県	480,651		578,596		623,084		696,320			
利用者負担金	156,426		148,313		146,902		148,520			
その他										
一般財源	231,376		348,095		368,737		425,680			
② 人件費(千円)	7,690	人工	7,590	人工	11,325	人工		人工		人工
正規	7,690	1	7,590	1	11,325	1.5				
嘱託										
合計コスト①+②	876,143		1,082,594		1,150,048		1,270,520			
前年度比	—		123.6%		106.2%		—			

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	保育課	課CD	0960000
-----	------	----	-----	-----	---------

事務事業名	児童福祉事務 (実費徴収に係る補足給付事業)
-------	---------------------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	233	保育環境の充実	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	児童福祉事務費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

低所得で生計が困難である保護者の子どもが保育園・幼稚園・認定こども園等に通う場合に、保護者が保育料の他に支払う実費徴収に対して、その一部を補助するものです。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 事業内容
(1) 対象保護者 生活保護世帯
(2) 対象範囲(ア～ウを満たすもの)
ア 園で利用する通常必要とされる日用品に係る経費
イ 市内の保育園・幼稚園・認定こども園等に共通するもの(限定列举)
ウ 同一園児に対し、同一年度内に1回購入するもの
2 補助額
対象経費×10/10 (月額2,500円程度、年度合計5,000円まで)
3 活動指標
申請者数 7人(H28実績値)

<現状に対する認識>

対象世帯への制度周知と継続的な支援により、すべての子どもの健やかな成長を支援する。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	延べ申請数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	60	36	36	36	36
実績値	28	23	40		
達成度	46.7%	63.9%	111.1%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	46		49		72		90			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	46		49		72		90			
② 人件費(千円)	1,538	人工	578	人工	590	人工		人工		人工
正規	1,538	0.2								
嘱託			578	0.2	590	0.2				
合計コスト①+②	1,584		627		662		90			
前年度比	—		39.6%		105.6%		—			

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	保育課	課CD	0960000
-----	------	----	-----	-----	---------

事務事業名	補助金 (私立保育所等への補助事業)
-------	-----------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	233	保育環境の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

<事業の狙い>

事業計画年度

～

私立保育園等の経営の円滑を図り、児童福祉の向上に資するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

私立保育園等の保育事業に係る経費に対する補助を行うもの

- 1 補助事業
 - (1) 私立保育園等経営安定事業
 - (2) 認可外保育施設児童対策事業
 - (3) 私立保育所等障害児保育事業
 - (4) 私立保育所等児童健康管理事業
 - (5) 私立保育所等乳児保育促進事業
 - (6) 私立保育所等一時保育事業
 - (7) 私立保育所等施設整備事業
 - (8) 保護者会文化事業
 - (9) 園児送迎用駐車場確保事業
 - (10) 私立保育所等延長保育事業
 - (11) 私立保育園等1歳児保育支援事業
 - (12) 保育対策総合支援事業

2 補助対象施設

- (1) 私立保育園 5園
- (2) 私立認定こども園 6園
- (3) 認可外保育施設 8施設

<現状に対する認識>

私立保育園に通う児童の保育環境の向上が図れる。
また、私立保育園も公立保育園と同じ基準で保育事業を実施することが可能となる。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	私立保育所月平均児童数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	1,056	1,069	1,077	1,084	1,092
実績値	1,062	1,116	1,137		
達成度	100.6%	104.4%	105.6%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	196,855		228,416		265,243		343,610			
国・県	36,666		42,494		44,220		103,750			
利用者負担金										
その他										
一般財源	160,189		185,922		221,023		239,860			
② 人件費(千円)	5,383	人工	5,313	人工	5,285	人工		人工		人工
正規	5,383	0.7	5,313	0.7	5,285	0.7				
嘱託										
合計コスト①+②	202,238		233,729		270,528		343,610			
前年度比	—		115.6%		115.7%		—			

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	保育課	課CD	09600000
-----	------	----	-----	-----	----------

事務事業名	保育園屋根・床・FF暖房機改修事業
-------	-------------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	保育所施設整備事業

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	233	保育環境の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
	主な取組み	〇完全市営による保育園運営、待機児童ゼロ継続
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<事業の狙い>

事業計画年度

H12~

老朽化が進んでいる築後概ね18年程度経過した保育園の屋根・床・FF暖房機を改修するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

建築後概ね18年経過し、老朽化した屋根・床・FF暖房機を改修を計画的に実施するもの。

1 工事内容

- ①屋根改修:鋼製屋根の塗替え、シート防水等の防水層改修 等
- ②床改修:保育室、遊戯室、廊下等の床板を張替え 等
- ③FF暖房機改修:保育室、遊戯室、調理室等にある暖房機の取替え

<現状に対する認識>

老朽化が進む保育園の内外装を改修することにより、保育環境の改善と施設の延命を図るもの。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	各年度事業費(千円)				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	0	33,560	20,230	63,700	27,050
実績値	0	33,048	39,374		
達成度		98.5%	194.6%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	0	33,048	36,493	0	
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源		33,048	36,493	0	
② 人件費(千円)	0	人工 3,795	人工 3,775	人工	人工
正規	0	0 3,795	0.5 3,775	0.5	
嘱託					
合計コスト①+②	0	36,843	40,268	0	
前年度比	—	#DIV/0!	109.3%	—	

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	保育課	課CD	0960000
-----	------	----	-----	-----	---------

事務事業名	保育所管理運営事業
-------	-----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	233	保育環境の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		○完全市営による保育園運営、待機児童ゼロ継続
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	保育所管理運営費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

公立保育園の運営の維持・向上を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

公立保育園の運営に関する事務費及び管理費

1 事業内容

- 1) 保育園入園事務
- 2) 保育園人事管理事務
- 3) 保育料等の滞納整理事務
- 4) 保育園職員の研修事務
- 5) 保育園給食管理事務
- 6) 保育園児童の健康管理事務

2 活動指標

公立保育園月平均児童数 4,563人(H29年度実績)

<現状に対する認識>

未満児の増加に伴う、保育士の確保対策に努めるとともに、保育園の安定的な運営を図るもの。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	公立保育園月平均児童数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	4,518	4,536	4,568	4,600	4,632
実績値	4,565	4,563	4,489		
達成度	101.0%	100.6%	98.3%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	1,068,495		1,134,671		1,162,884		972,400			
国・県										
利用者負担金	974,623		1,001,098		998,552		972,400			
その他										
一般財源	93,872		133,573		164,332		0			
② 人件費(千円)	3,158,390	人工	3,196,340	人工	3,215,600	人工		人工		人工
正規	2,160,890	281	2,193,510	289	2,295,200	304				
嘱託	997,500	350	1,002,830	347	920,400	312				
合計コスト①+②	4,226,885		4,331,011		4,378,484		972,400			
前年度比	—		102.5%		101.1%		22.2%			

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	保育課	課CD	0960000
-----	------	----	-----	-----	---------

事務事業名	乳幼児情操教育事業
-------	-----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	233	保育環境の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		○完全市営による保育園運営、待機児童ゼロ継続
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	乳幼児情操教育事業費(民生費)

<事業の狙い>

事業計画年度

～

乳幼児期から豊かな情操、感性を育むため

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

本市の恵まれた音楽環境を活用し、乳幼児期から音楽を聴いたり、歌ったり、楽しむという環境のなかで、豊かな情操、感性を育むため取り組むもの。

1 事業概要

- (1) 生演奏による鑑賞(才能研究会)
- (2) 各園独自で音楽演奏会を実施
- (3) 各園でクラシック音楽に親しむ環境づくりを実施

2 活動指標

事業開催園数 43園(H29実績値)

<現状に対する認識>

保育園児の豊かな情操、感性を育むため、今後も継続して取り組むもの

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	事業開催園数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	43	43	43	42	42
実績値	43	43	43		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)	事業開催件数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	43	43	43	42	42
実績値	43	43	43		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	1,209		1,270		1,226		1,260			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,209		1,270		1,226		1,260			
② 人件費(千円)	385	人工	380	人工	378	人工		人工		人工
正規	385	0.05	380	0.05	378	0.05				
嘱託										
合計コスト①+②	1,594		1,650		1,604		1,260			
前年度比	—		103.5%		97.2%		—			

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	保育課	課CD	0960000
-----	------	----	-----	-----	---------

事務事業名	負担金 (保育園に係る各種団体負担金)
-------	------------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	233	保育環境の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

<事業の狙い>

事業計画年度

～

保育事業に係る各種団体への負担金

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 各種負担金
(1) 長野県保育連盟負担金 県内の全市町村が加入し、保育内容の充実、保育従事者の資質向上、情報・連絡、功労者の顕彰、各種研究大会の開催等の事業を実施する。 ア 全保協負担金@5,000円/1園 イ 県社協負担金@500円/1園、@100円/園児割
(2) 幼年教育研究会負担金 市内94校の幼稚園・保育園・小学校が参加して実施する研究集会、調査活動、講演会、新入学児童の情報共有等の事業を実施する。 ア 市立保育園@1,000円/1園 イ 市立幼稚園@5,000/1園
(3) 日本スポーツ振興センター災害共済掛金負担金 体育の振興と児童の健康の保持増進を図るため、保育園等の児童の災害等の給付を行うもの ア @375円(保護者負担120円)/1人(要保護児童は@65円)
(4) 会議・研修等負担金 公立保育園運営に係る会議・研修等の負担金

<現状に対する認識>

公立保育園に係る各種団体へ負担し、引続き保育園運営の向上を図る。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	児童割数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	4,599	4,575	4,607	4,639	4,672
実績値	4,575	4,599	4,568		
達成度	99.5%	100.5%	99.2%		
② 成果指標(指標名)	幼年教育研究会参加施設数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	43	43	43	42	42
実績値	43	43	43		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	2,647		2,631		2,631		2,610			
国・県										
利用者負担金										
その他	608		611		547		550			
一般財源	2,039		2,020		2,084		2,060			
② 人件費(千円)	385	人工	380	人工	378	人工		人工		人工
正規	385	0.05	380	0.05	378	0.05				
嘱託										
合計コスト①+②	3,032		3,011		3,009		2,610			
前年度比	—		99.3%		99.9%		—			

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	保育課	課CD	0960000
-----	------	----	-----	-----	---------

事務事業名	保育園園庭芝生化事業
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	233	保育環境の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		○完全市営による保育園運営、待機児童ゼロ継続
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	保育園園庭芝生化事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H24～

次代の社会を担う子どもが健やかに育つ保育環境の整備を充実させる。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

園児が心身ともに健やか・安全に育成される環境の整備を図るため、山間地を除く園の園庭一部芝生化事業を下記のとおり行う。

- 芝生化部分は、運動会トラック内部、約150㎡程度とする。
- 園での維持管理は、芝刈り機による週1・2回程度の作業、草むしりを行う。
- 専門的な維持管理は、委託業者にて行う。

<現状に対する認識>

園庭の一部を芝生化する事で、園児が外で遊ぶ頻度が増し運動能力向上につながる。未整備2園については、今後、園舎の改築に合わせて実施していくもの

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	芝生化実施率(箇所数)				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	90.7%	95.3%	95.3%	95.3%	97.7%
実績値	90.7%	95.3%	95.3%		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	12,680		12,833		12,312		12,510			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	12,680		12,833		12,312		12,510			
② 人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1				
嘱託										
合計コスト①+②	13,449		13,592		13,067		12,510			
前年度比	—		101.1%		96.1%		—			

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	保育課	課CD	0960000
-----	------	----	-----	-----	---------

事務事業名	保育園大規模改修事業
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	233	保育環境の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		○完全市営による保育園運営、待機児童ゼロ継続
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	保育園大規模改修事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H12~

次代の社会を担う子どもが健やかに育つ環境整備のため、老朽化が進んでいる保育園の大規模改修をする。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

建築後概ね30年経過した園の老朽化した施設・設備の改修を計画的に整備していくため、下記内容の改修工事及び工事監理を行う。

1 工事内容

- ①屋根改修 ②トイレ改修 ③内外装改修 ④給排水設備改修 等

<現状に対する認識>

老朽化が進む保育園の内外装を改修することにより、保育環境の改善と園舎躯体を保護して施設の延命を図るもの。長寿命化事業対象外3園については、平成38年度までに大規模改修事業を完了する予定。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	各年度事業費(千円)				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	3,640	167,350	140,620	0	3,380
実績値	3,640	157,927	223,920		
達成度	100.0%	94.4%	159.2%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	3,640		157,927		223,905		0			
国・県										
利用者負担金										
その他			153,600		218,100					
一般財源	3,640		4,327		5,805		0			
② 人件費(千円)	1,538	人工	3,795	人工	3,775	人工		人工		人工
正規	1,538	0.2	3,795	0.5	3,775	0.5				
嘱託										
合計コスト①+②	5,178		161,722		227,680		0			
前年度比	—		3123.3%		140.8%		—			

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	保育課	課CD	0960000
-----	------	----	-----	-----	---------

事務事業名	保育園エアコン設置事業
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	233	保育環境の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み			〇完全市営による保育園運営、待機児童ゼロ継続
5つの重点目標		2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略			⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	保育園エアコン設置事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H30~H45

次代の社会を担う子どもが健やかに育つ保育環境の整備を充実させる。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

子どもの体調管理及び生活環境の向上のため、全保育園及び幼稚園を対象として、既にエアコン設置済みの3歳未満児室及び一時保育室に加え、3歳以上児室及び保健室としての機能を有する事務室にエアコンを設置するもの

1 事業内容

- 保育園38園及び幼稚園3園の3歳以上児室及び事務室にエアコンを設置するもの
- 平成30年から3か年で全園の契約を実施するもの(設計、施工及び維持保守を一括発注するもの)
- 設置工事実施後からリース料金が発生する
- リース期間は13年間とするもの

保育環境の改善を図ることで園児に対し、見守りなどの体調管理を行う上で保育士の負担軽減を図ることができ、充実した保育サービスを提供することができる。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	3歳以上児室及び事務室のエアコン設置済み保育園・幼稚園数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値				15	29
実績値					
達成度				0.0%	0.0%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	0		0		0		9,850			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源							9,850			
② 人件費(千円)	0	人工	0	人工	3,775	人工	0	人工		人工
正規	0		0		3,775	0.5	0			
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	0		0		3,775		9,850			
前年度比	-		-		-		-			

事務事業評価票

事務事業名	島内保育園園舎増築事業
-------	-------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	島内保育園園舎増築費

部局名	こども部	課名	保育課	課CD	0960000
-----	------	----	-----	-----	---------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	233	保育環境の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み			○完全市営による保育園運営、待機児童ゼロ継続
5つの重点目標		2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略			⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<事業の狙い>

事業計画年度	H30~H32
--------	---------

次代の社会を担う子どもが健やかに育つ保育環境の整備を充実させる。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

次代の社会を担う子どもが健やかに育ち、充実した保育を受ける環境整備を図り、増加する未満児の受入れ需要に対応する施設整備を図るため、用地取得を行い既存園舎に未満児棟を増築するもの

1 建設規模	未満児48人規模(0歳児8人、1歳児16人、2歳児24人)
2 敷地面積	約1,054㎡(用地購入面積)
3 延床面積	約325㎡(うち渡り廊下約30㎡)
4 構造	鉄骨造平屋建て
5 既存施設	S63建設 鉄筋コンクリート造平屋建て 延床面積 1,114.4㎡ 定員228人 未満児棟増築に伴い改修

増加する未満児の受入れ需要に対応するため、現在の保育園に隣接した土地を購入し、未満児棟を増築することにより、待機児童対策を図り、さらに保育環境の充実を図るもの

<指標の達成状況>

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	事業実施率(全体事業費)				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値				17.5%	100.0%
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	0	0	0	46,800	0
国・県					
利用者負担金					
その他				10,400	
一般財源				36,400	
② 人件費(千円)	0	0	2,265	人工	人工
正規	0	0	2,265	0.3	
嘱託					
合計コスト①+②	0	0	2,265	46,800	
前年度比	—	—	—	—	

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	保育課	課CD	0960000
-----	------	----	-----	-----	---------

事務事業名	波田中央保育園改築事業
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	233	保育環境の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み			〇完全市営による保育園運営、待機児童ゼロ継続
5つの重点目標		2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略			⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	波田中央保育園改築事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H30~H32

次代の社会を担う子どもが健やかに育つ保育環境の整備を充実させる。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

老朽化が著しい波田中央保育園を現地改築し、待機児童対策として一時預かり室を整備するとともに、保育園に隣接し狭隘化が課題となっている波田児童センターの放課後専用室を整備するため、保育園と児童センターの機能を持つ複合施設を建築するもの

- 建設規模 保育園120人規模、児童センター100人規模(増築分)
- 敷地面積 約6,990㎡
- 延床面積 約1,393㎡
- 構造 鉄骨造一部2階建て
- 既存施設
 保育園 : S49建設、木造平屋建て、延床面積 720.9㎡、定員118人
 児童センター: H16建設、鉄骨造平屋建て、延床面積 441.0㎡
 児童クラブ : S39建設、木造平屋建て、延床面積 535.0㎡

昭和47年に建設され、敷地が狭隘で園舎の老朽化が進んでいるため、施設整備方針に基づき計画的に整備をするもの。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	事業実施率(全体事業費)				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値			2.2%	6.7%	93.8%
実績値			1.8%		
達成度			81.8%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	0		0		7,128		42,510			
国・県										
利用者負担金										
その他					6,400		14,900			
一般財源					728		27,610			
② 人件費(千円)	0	人工	0	人工	3,020	人工		人工		人工
正規	0		0		3,020	0.4				
嘱託	0		0							
合計コスト①+②	0		0		10,148		42,510			
前年度比	-		-		-		-			

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	保育課	課CD	0960000
-----	------	----	-----	-----	---------

事務事業名	一般管理(幼稚園管理運営事業)
-------	-----------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	233	保育環境の充実	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	一般管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

~

公立幼稚園の運営の維持・向上を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

公立幼稚園の運営に関する事務費及び管理費	
1 事業内容	
(1) 幼稚園入園事務	
(2) 幼稚園人事管理事務	
(3) 保育料等の滞納整理事務	
(4) 幼稚園職員の研修事務	
(5) 幼稚園給食管理事務	
(6) 幼稚園児童の健康管理事務	
2 活動指標	
公立幼稚園月平均児童数	212人(H29年度実績)

<現状に対する認識>

幼稚園の安定的な運営に努めるもの。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	公立幼稚園月平均園児数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	217	210	210	210	210
実績値	203	212	215		
達成度	93.5%	101.0%	102.4%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	22,882		29,948		27,251		29,880			
国・県										
利用者負担金	20,592		21,719		21,910		21,320			
その他										
一般財源	2,290		8,229		5,341		8,560			
② 人件費(千円)	152,400	人工	123,950	人工	116,800	人工		人工		人工
正規	115,350	15	83,490	11	75,500	10				
嘱託	37,050	13	40,460	14	41,300	14				
合計コスト①+②	175,282		153,898		144,051		29,880			
前年度比	—		87.8%		93.6%		—			

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	保育課	課CD	0960000
-----	------	----	-----	-----	---------

事務事業名	トライやる・スクール事業(幼稚園)
-------	-------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	233	保育環境の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		○完全市営による保育園運営、待機児童ゼロ継続
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	トライやる・スクール事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

特色ある幼稚園づくりの一環として、人間性豊かな園児の育成と活力ある幼稚園を創造し、地域住民・未就園児との交流活動や地域に密着した幼稚園を目指すもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 事業内容	茶道教室、子育て相談、サッカー教室、陶芸教室、地域・未就園児交流
2 活動指標	実施園 3園(H29年度実績)

<現状に対する認識>

各幼稚園ごとの取組みや地域とのかかわりにより、園児の豊かな人間性の育成に繋がる。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	実施園				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	3	3	3	3	3
実績値	3	3	3		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	292		303		305		310			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	292		303		305		310			
② 人件費(千円)	231	人工	228	人工	227	人工		人工		人工
正規	231	0.03	228	0.03	227	0.03				
嘱託										
合計コスト①+②	523		531		532		310			
前年度比	—		101.5%		100.2%		—			

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	保育課	課CD	09600000
-----	------	----	-----	-----	----------

事務事業名	幼稚園乳幼児情操教育事業
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち		主な取組み	〇完全市営による保育園運営、待機児童ゼロ継続
基本施策(個別目標)	233	保育環境の充実	5つの重点目標		2 次世代を育むまちづくり
—	—	—	松本版総合戦略		⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	乳幼児情操教育事業費(教育費)

<事業の狙い>

事業計画年度

～

乳幼児期から豊かな情操、感性を育む

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

本市の恵まれた音楽環境を活用し、乳幼児期から音楽を聴いたり、歌ったり、楽しむという環境のなかで、豊かな情操、感性を育むため取り組むもの。

1 事業概要

- (1) 生演奏による鑑賞(才能研究会)
- (2) 各園独自で音楽演奏会を実施
- (3) 各園でクラシック音楽に親しむ環境づくりを実施

2 活動指標

事業開催園数 3園(H28実績値)

<現状に対する認識>

幼稚園児の豊かな情操、感性を育むもの。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	事業開催園数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	3	3	3	3	3
実績値	3	3	3		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)	事業開催件数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	3	3	3	3	3
実績値	3	3	3		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	178		57		90		90			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	178		57		90		90			
② 人件費(千円)	385	人工	145	人工	148	人工		人工		人工
正規	385	0.05								
嘱託			145	0.05	148	0.05				
合計コスト①+②	563		202		238		90			
前年度比	—		35.8%		117.9%		—			

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	保育課	課CD	0960000
-----	------	----	-----	-----	---------

事務事業名	負担金 (幼稚園に係る各種団体負担金)
-------	------------------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	233	保育環境の充実	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

<事業の狙い>

事業計画年度

～

幼稚園事業に係る各種団体への負担金

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 各種負担金
(1) 国公立幼稚園長会負担金 県内の全国公立幼稚園が加入し、幼児教育内容の充実、教育従事者の資質向上、情報・連絡、各種研究大会の開催等の事業を実施 ア 国負担金@4,000円/1園、@35円×園児数 イ 県負担金@3,000円/1園、@3,000円/学級数
(2) 県幼稚園教育研究協議会負担金 県内8園の国公立幼稚園が参加して実施する研究協議会に係る講師謝礼、教材費等の経費として ア 市立幼稚園@10,000円/1園
(3) 松本市幼年教育研究会負担金 松本市内101校の幼稚園・保育園・小学校が参加する松本市幼年教育研究会の会費を負担 ア 市立幼稚園@5,000円/1園
(4) 防火管理協会負担金 防火管理協会の会費負担金
(5) 会議・研修等負担金 公立幼稚園運営に係る会議・研修等の負担金

<現状に対する認識>

公立幼稚園に係る各種団体へ負担し、幼稚園運営の向上を図る。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	参加施設数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	3	3	3	3	3
実績値	3	3	3		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	147		169		147		210			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	147		169		147		210			
② 人件費(千円)	385	人工	380	人工	378	人工		人工		人工
正規	385	0.05	380	0.05	378	0.05				
嘱託										
合計コスト①+②	532		549		525		210			
前年度比	—		103.2%		95.6%		—			

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	保育課	課CD	0960000
-----	------	----	-----	-----	---------

事務事業名	補助金 (私立幼稚園等への補助事業)
-------	-----------------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	233	保育環境の充実	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

<事業の狙い>

事業計画年度

～

私立幼稚園の経営の安定を図り幼児教育の振興を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 補助事業
(1) 私立幼稚園等運営費 幼児教育の振興を図るため、私立幼稚園に対しての補助 1園につき年額700,000円以内、園児1人につき年額27,000円以内
(2) 私立幼稚園就園奨励費 私立幼稚園の設置者が行う保育料等の減免に対し、助成することで幼児教育の振興に資するもの 10分の10以内(国の幼稚園就園奨励費補助金交付要綱第3条第3項の規定による額を限度とする。)
(3) 私立幼稚園建設費 私立幼稚園の新築、増築又は改築、定員増となる増改築の初度調弁費に要する経費に対し助成をすることで、幼児の処遇の向上を図るもの 事業費から国交付金その他の特定財源を控除した額の3分の2以内の額又は事業費の3分の1以内の額

<現状に対する認識>

私立幼稚園の経営が安定し保護者の経費負担が抑えられる。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	私立幼稚園月平均児童数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	1,950	1,870	1,870	1,870	1,870
実績値	1,874	1,841	1,654		
達成度	96.1%	98.4%	88.4%		
② 成果指標(指標名)	就園奨励費交付対象者数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	1,179	1,142	1,043	1,030	1,030
実績値	1,174	1,086	1,024		
達成度	99.6%	95.1%	98.2%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和元年2年度	
① 事業費(千円)	338,922		199,934		203,950		377,430			
国・県	128,187		45,604		48,098		43,260			
利用者負担金										
その他										
一般財源	210,735		154,330		155,852		334,170			
② 人件費(千円)	3,845	人工	3,795	人工	3,775	人工		人工		人工
正規	3,845	0.5	3,795	0.5	3,775	0.5				
嘱託										
合計コスト①+②	342,767		203,729		207,725		377,430			
前年度比	—		59.4%		102.0%		—			

事務事業評価票

部局名	こども部	課名	保育課	課CD	0960000
-----	------	----	-----	-----	---------

事務事業名	児童生徒保健管理 (幼稚園児童の健康管理事務)
-------	----------------------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	233	保育環境の充実	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	児童生徒保健管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

公立幼稚園児の安全、衛生を管理するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 事業内容	保健指導、感染症関係業務、障害児相談、障害児入所審査委員会、障害児巡回指導、各種健康診断
2 活動指標	公立幼稚園園児数 212人(H29)

<現状に対する認識>

園児の園生活の安全、衛生を管理し、適正な環境を保つことができる。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	公立幼稚園月平均園児数				
指標の設定理由	事業の成果を表すものであるため				
目標値	217	210	210	210	210
実績値	203	212	215		
達成度	93.5%	101.0%	102.4%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	388		544		446		650			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	388		544		446		650			
② 人件費(千円)	1,538	人工	1,518	人工	1,510	人工		人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,510	0.2				
嘱託										
合計コスト①+②	1,926		2,062		1,956		650			
前年度比	—		107.1%		94.9%		—			